

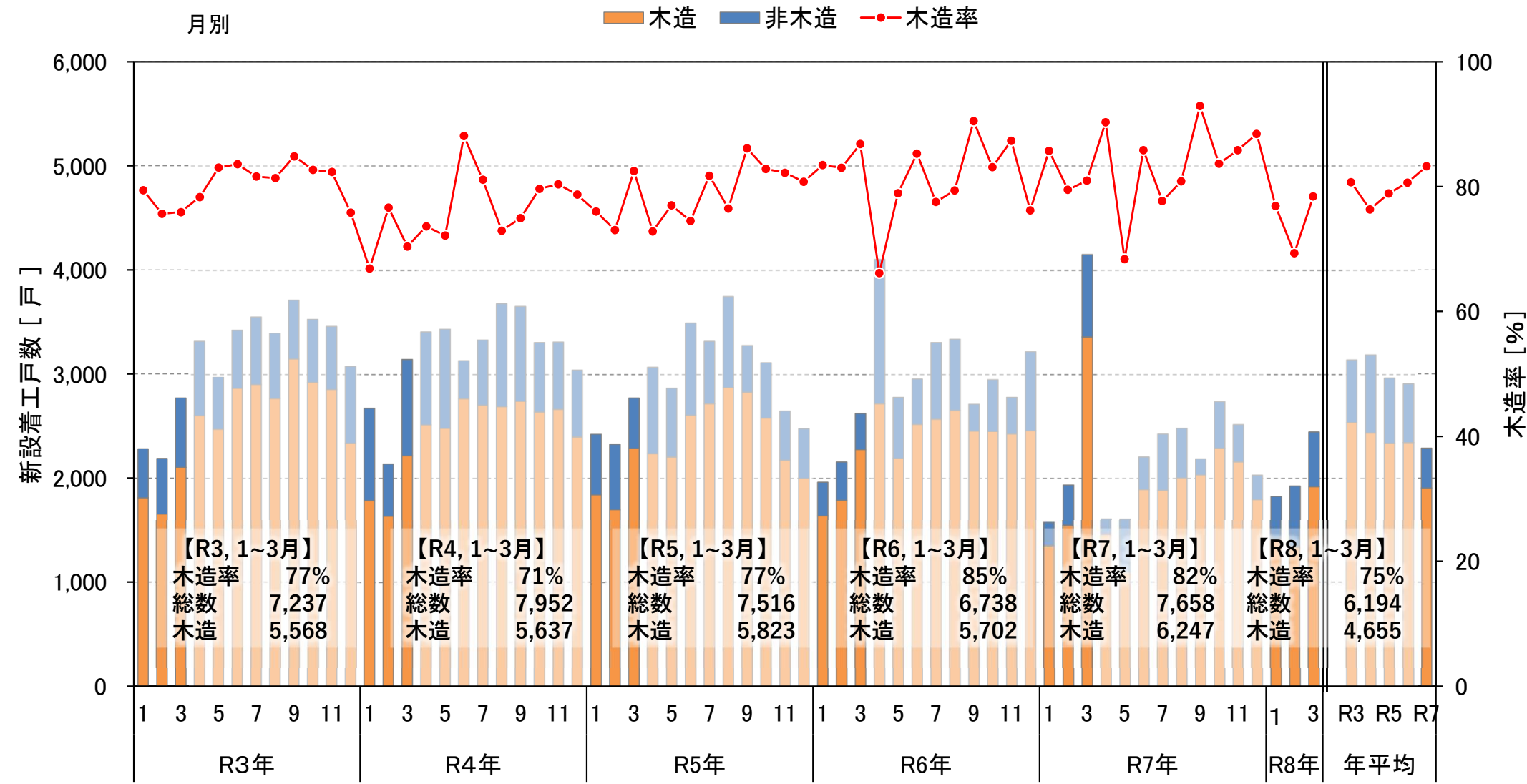
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和8年6月5日(金)

東北森林管理局

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移（令和3年1月～令和8年3月）

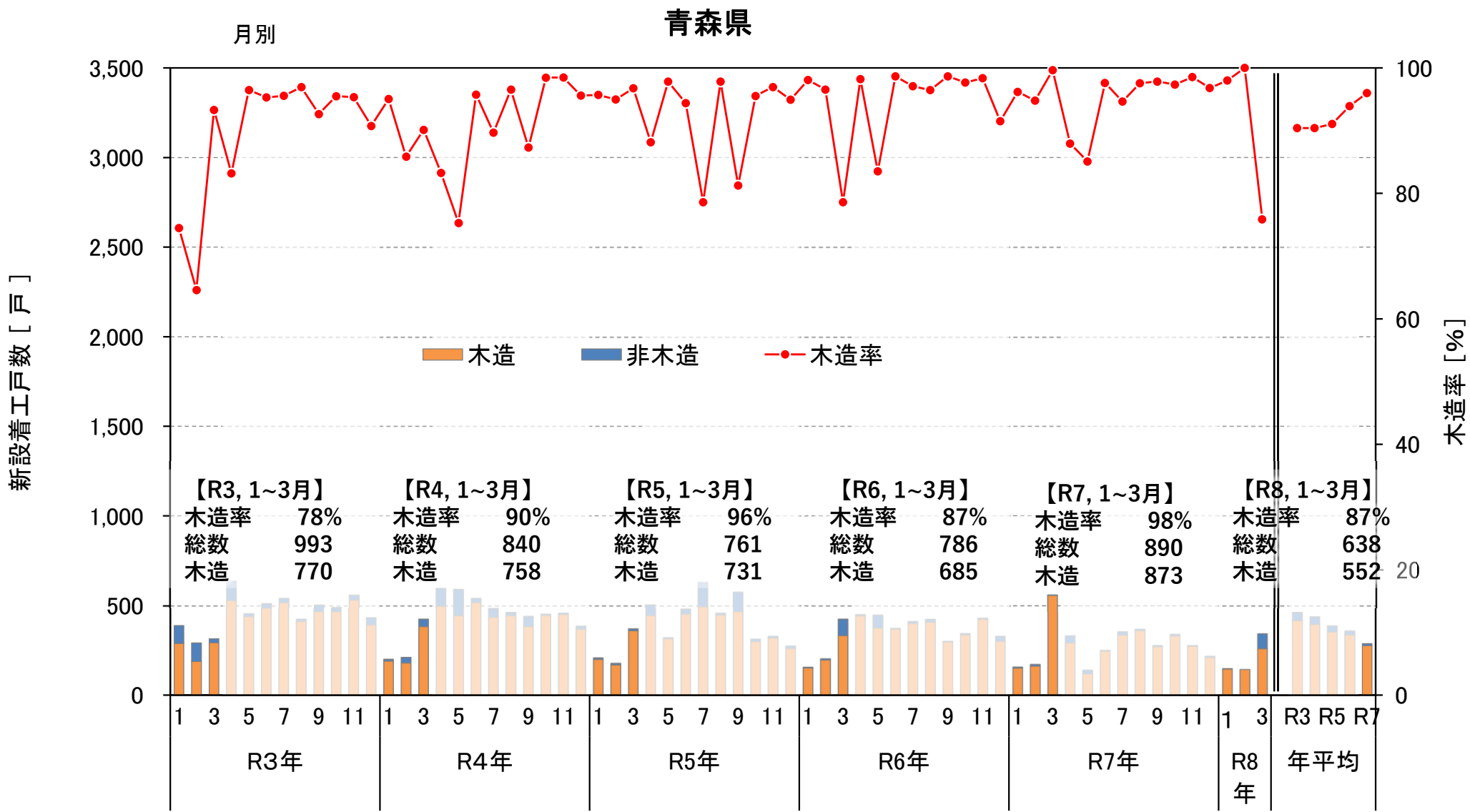
○ 東北5県の令和8年1～3月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より1,464戸（19%）減少した。
この期間の木造は昨年同期より1,592戸減少し、木造率は-7%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移 (令和3年1月～令和8年3月)

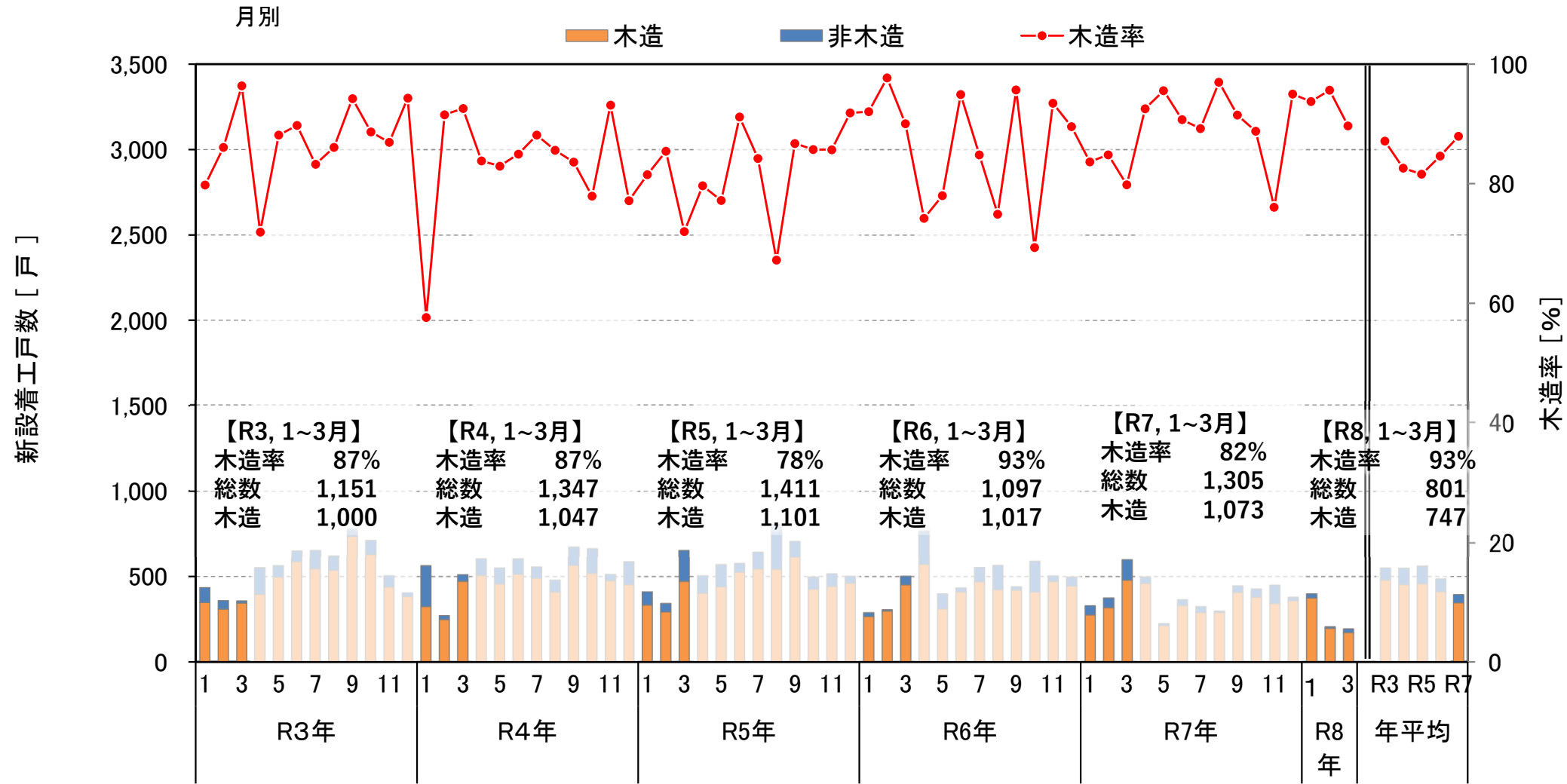
○ 青森県の令和8年1～3月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より戸減少した。
この期間の木造は321戸減少し、木造率は-11%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移（令和3年1月～令和8年3月）

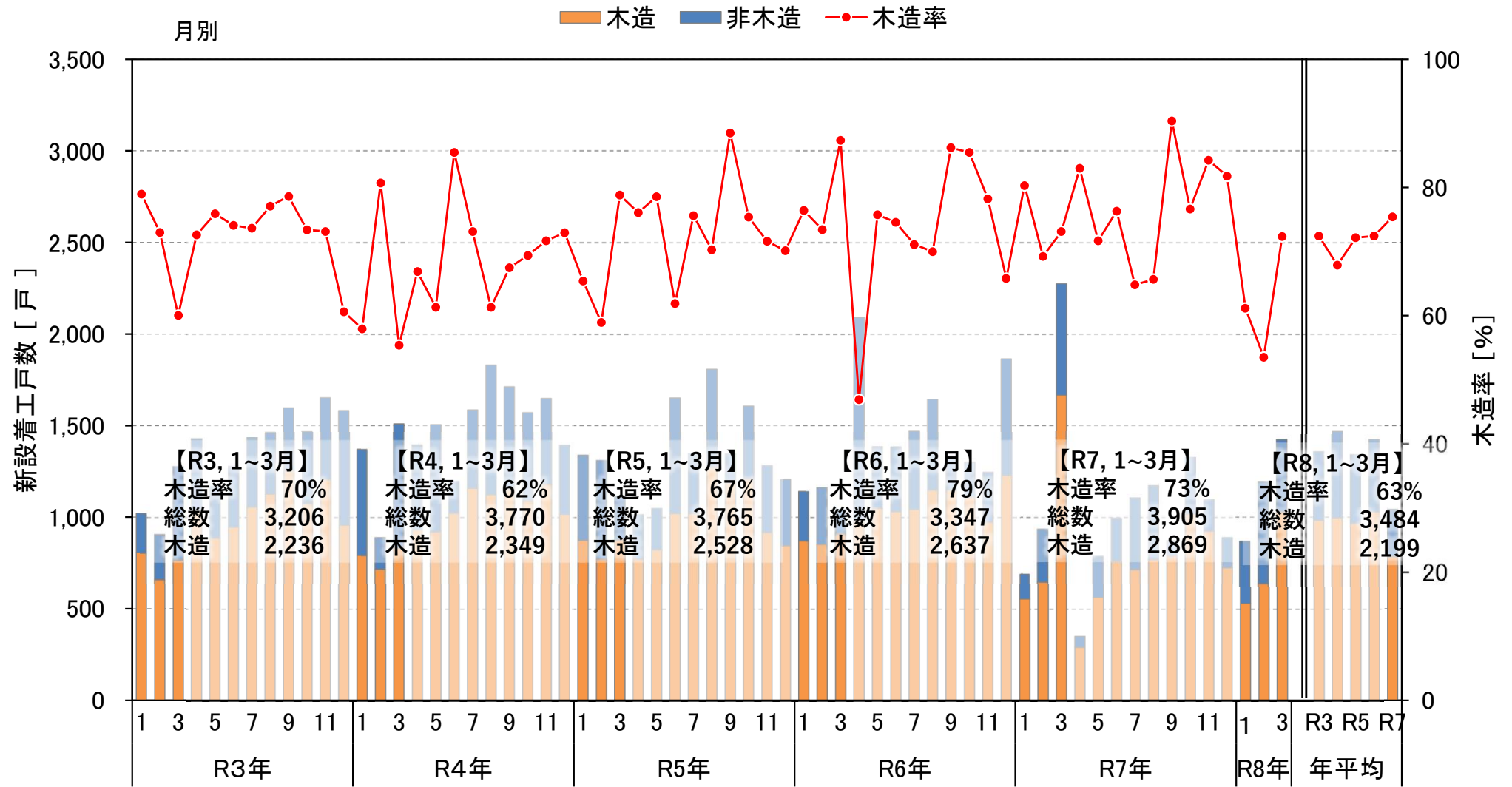
○ 岩手県の令和8年1～3月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より504戸減少した。
この期間の木造は326戸減少し、木造率は9%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移 (令和3年1月～令和8年3月)

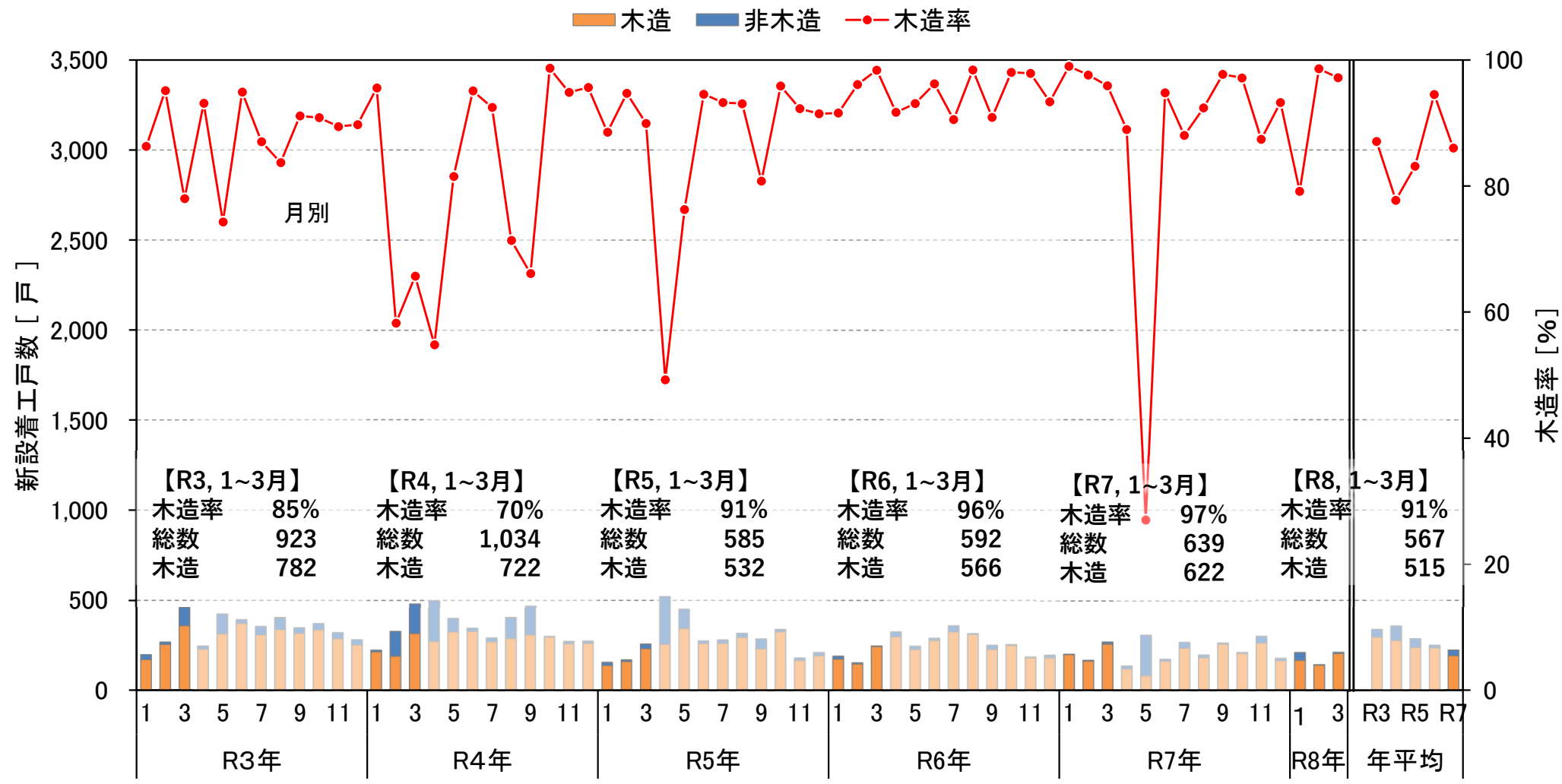
○ 宮城県の令和8年1～3月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より421戸減少した。
この期間の木造は670戸減少し、木造率は-10%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移 (令和3年1月～令和8年3月)

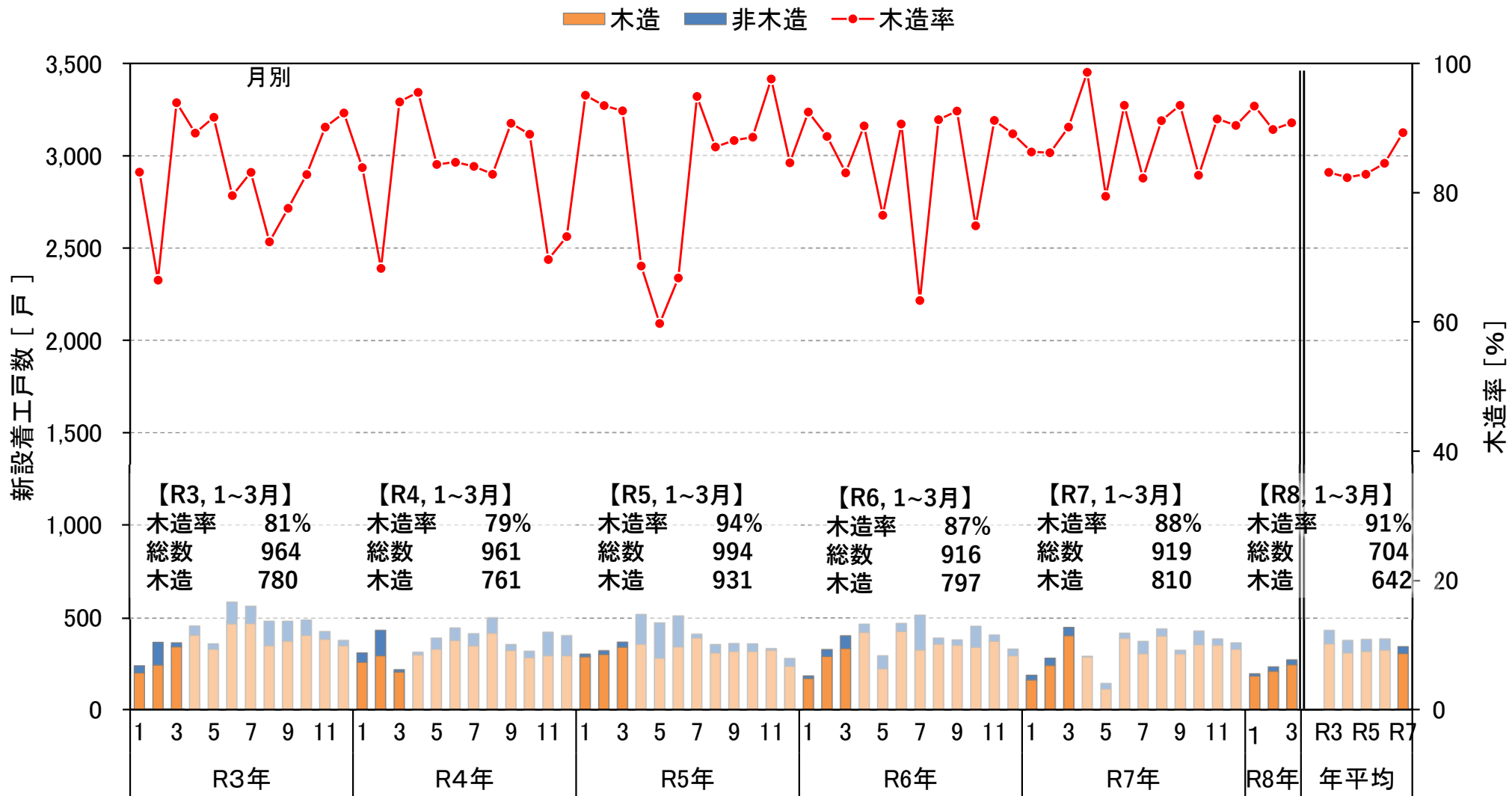
○ 秋田県の令和7年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より72戸減少した。
この期間の木造は107戸減少し、木造率は-6%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 山形県の新設住宅着工戸数の推移（令和3年1月～令和8年3月）

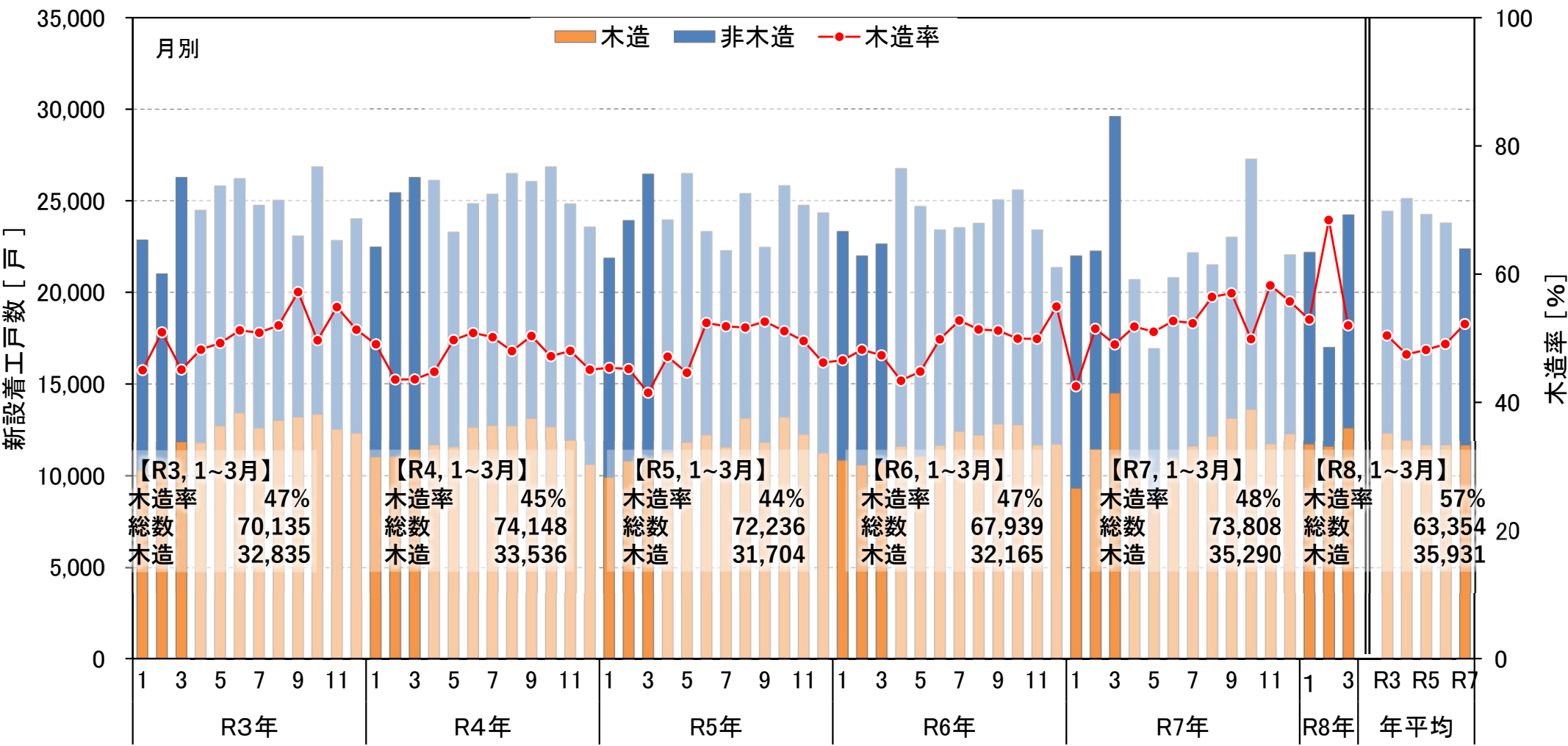
○ 山形県の令和8年1～3月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より215戸減少した。
この期間の木造は168戸減少し、木造率は2%増加であった。



■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移（令和3年1月～令和8年3月）

○ 関東主要都市の令和8年1～3月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より10,454戸減少した。
この期間の木造は641戸増加し、木造率は9%増加であった。

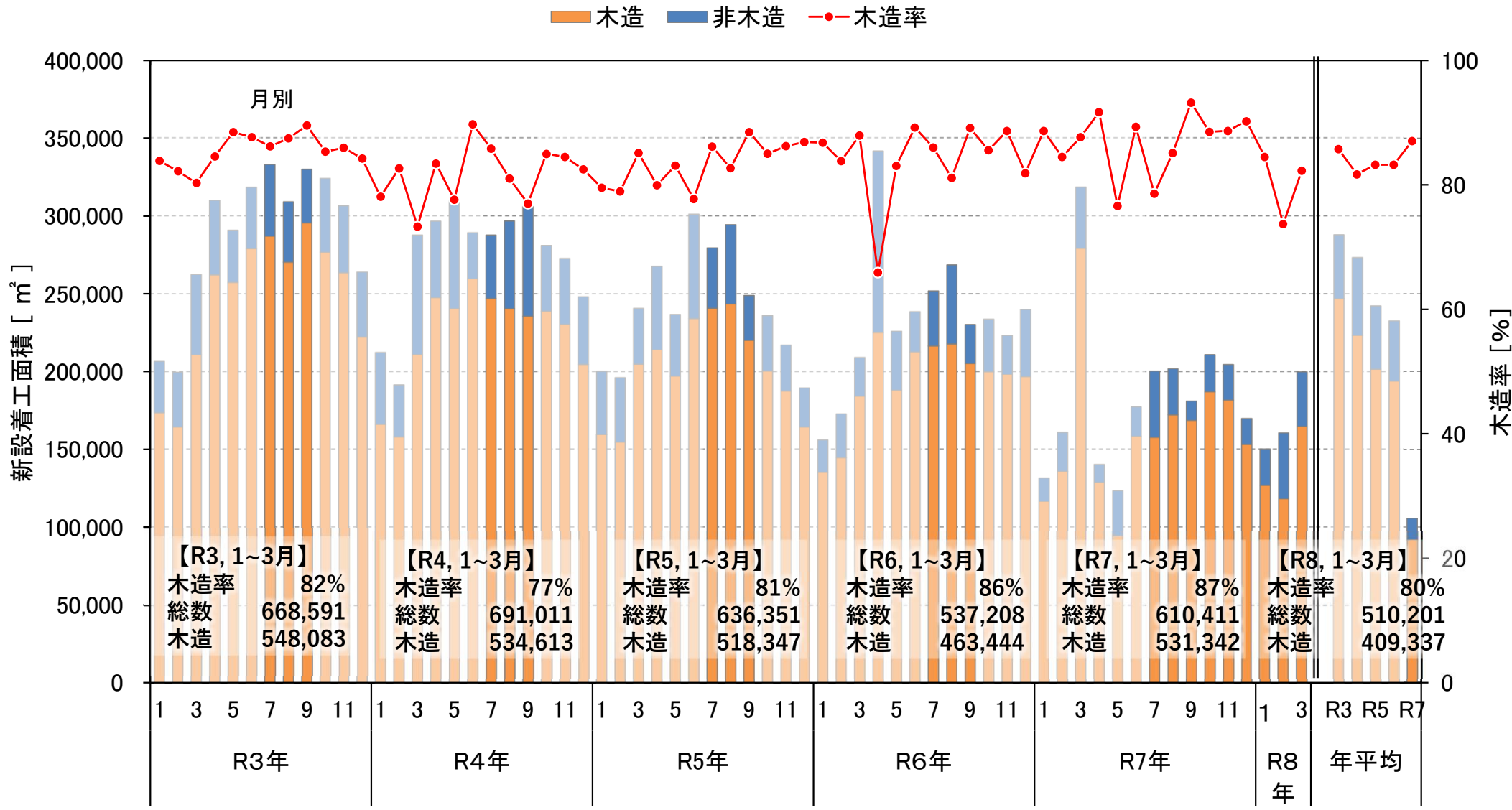
埼玉、千葉、東京、神奈川



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工面積の推移 (令和3年1月～令和8年3月)

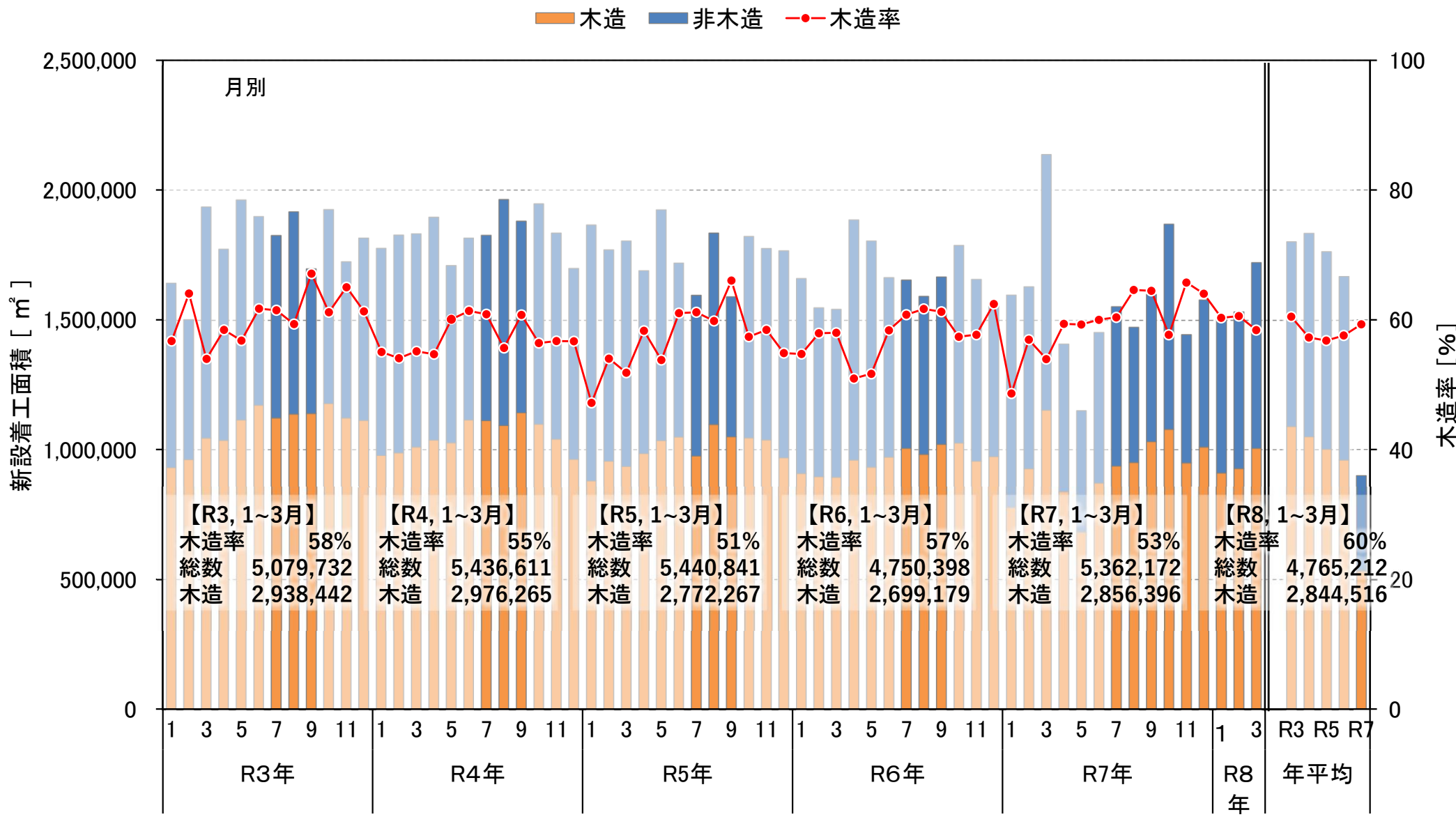
○ 東北5県の令和8年1～3月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より100,210m²(16.4%)減少した。
この期間の木造は昨年同期より122,005m²減少し、木造率は-7%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工面積の推移（令和3年1月～令和8年3月）

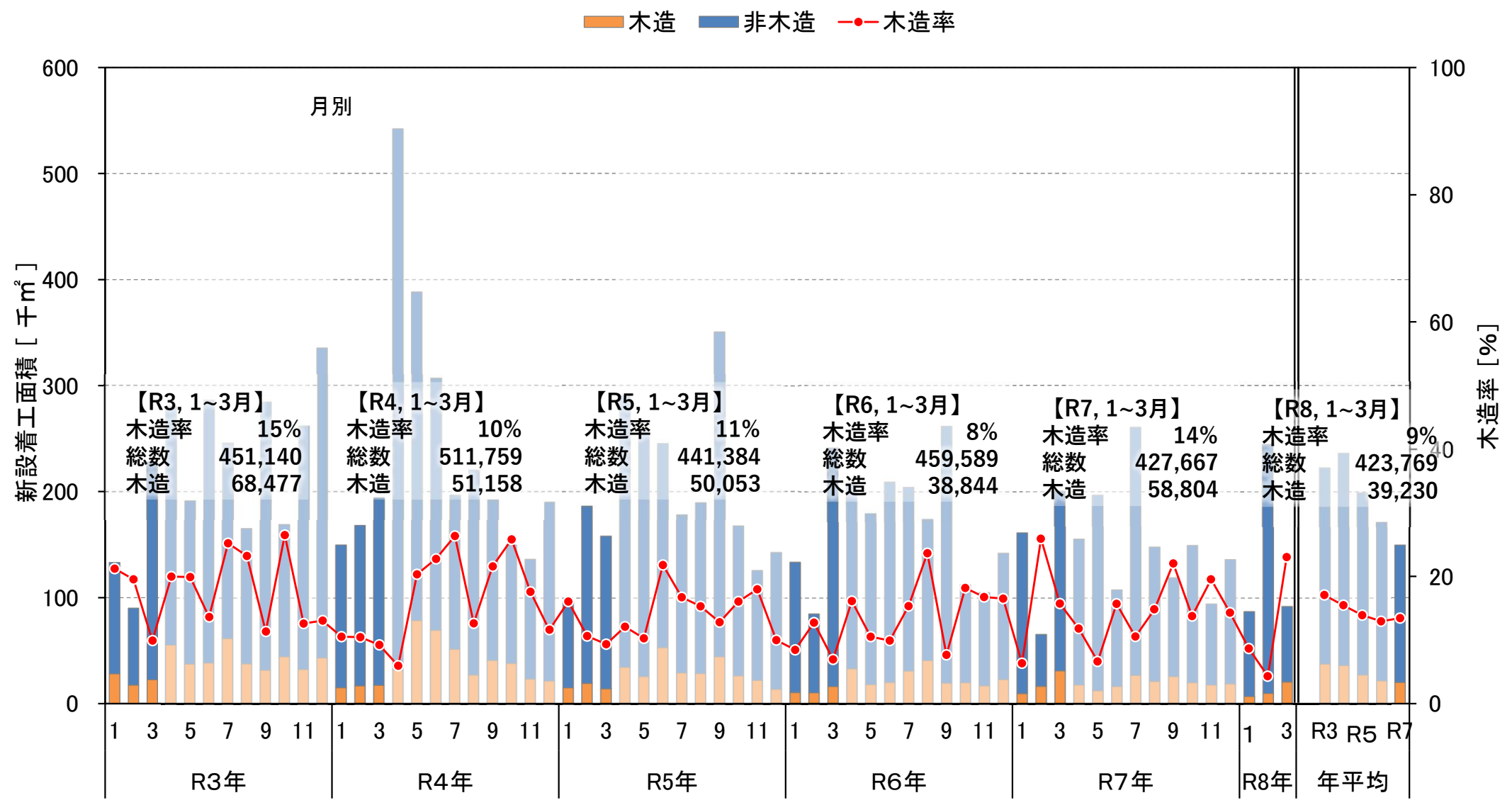
○ 関東主要都市の令和8年1～3月期の新設住宅着工面積は、去年同期より596,960m²（11.1%）減少した。
この期間の木造は11,880m²減少し、木造率は7%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和3年1月～令和8年3月）

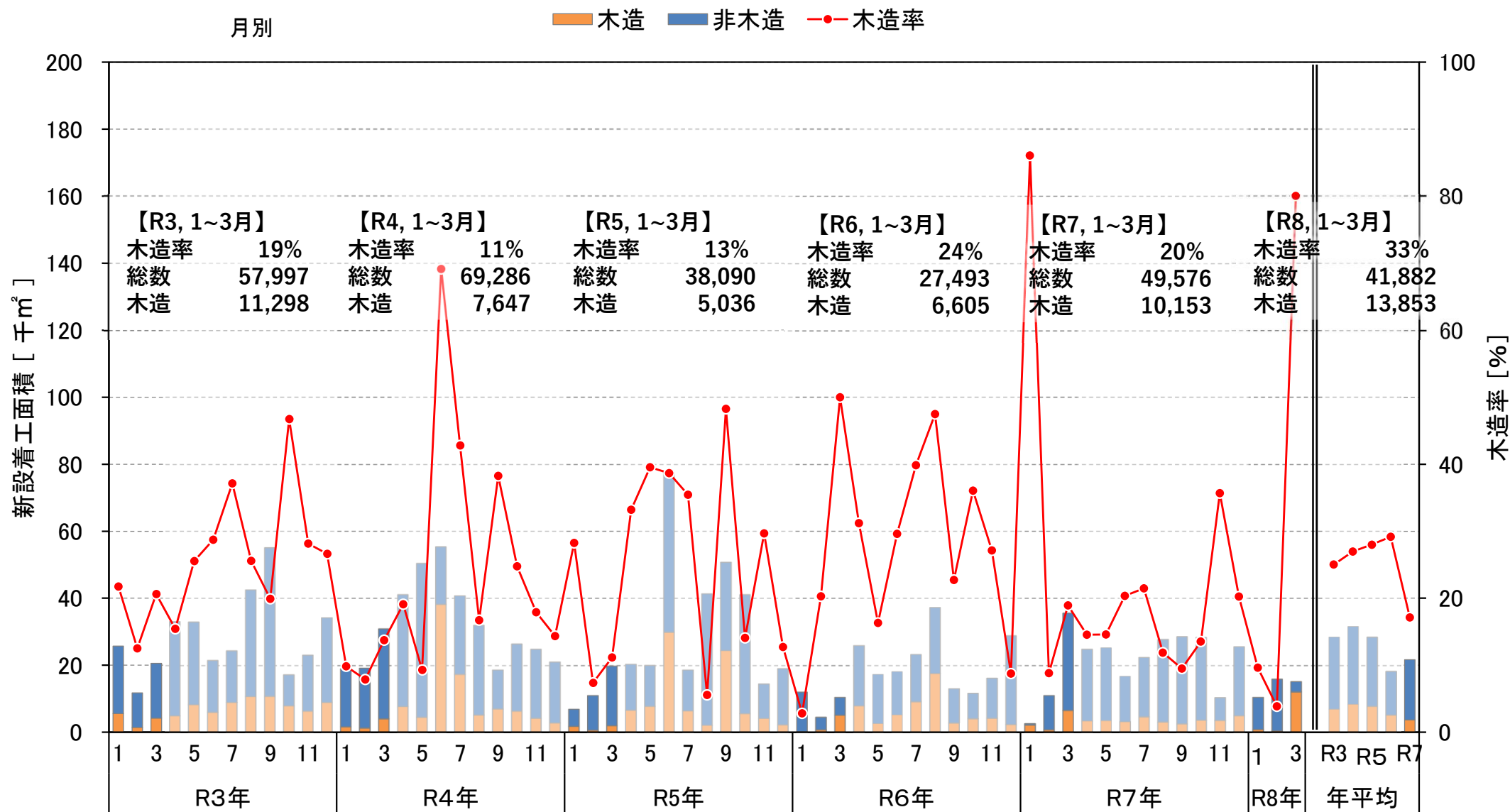
○ 東北5県の令和8年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より3,898㎡減少した。
この期間の木造は昨年同期より19,574㎡減少し、木造率は-5%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

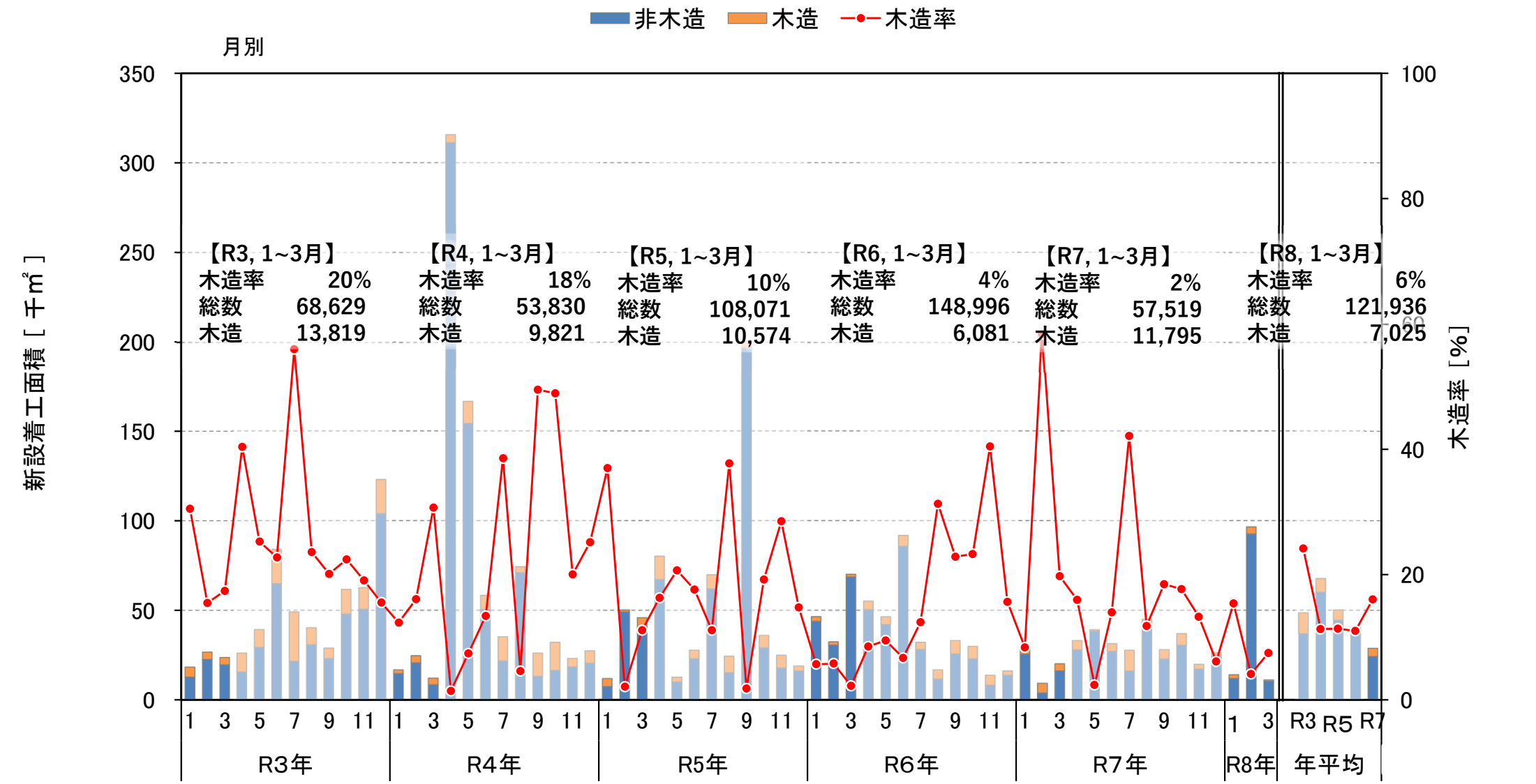
■ 青森県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和3年1月～令和8年3月)

○ 青森県の令和8年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より7,694㎡減少した。
この期間の木造は3,700㎡増加し、木造率は13%増加した。



■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和3年1月～令和8年3月）

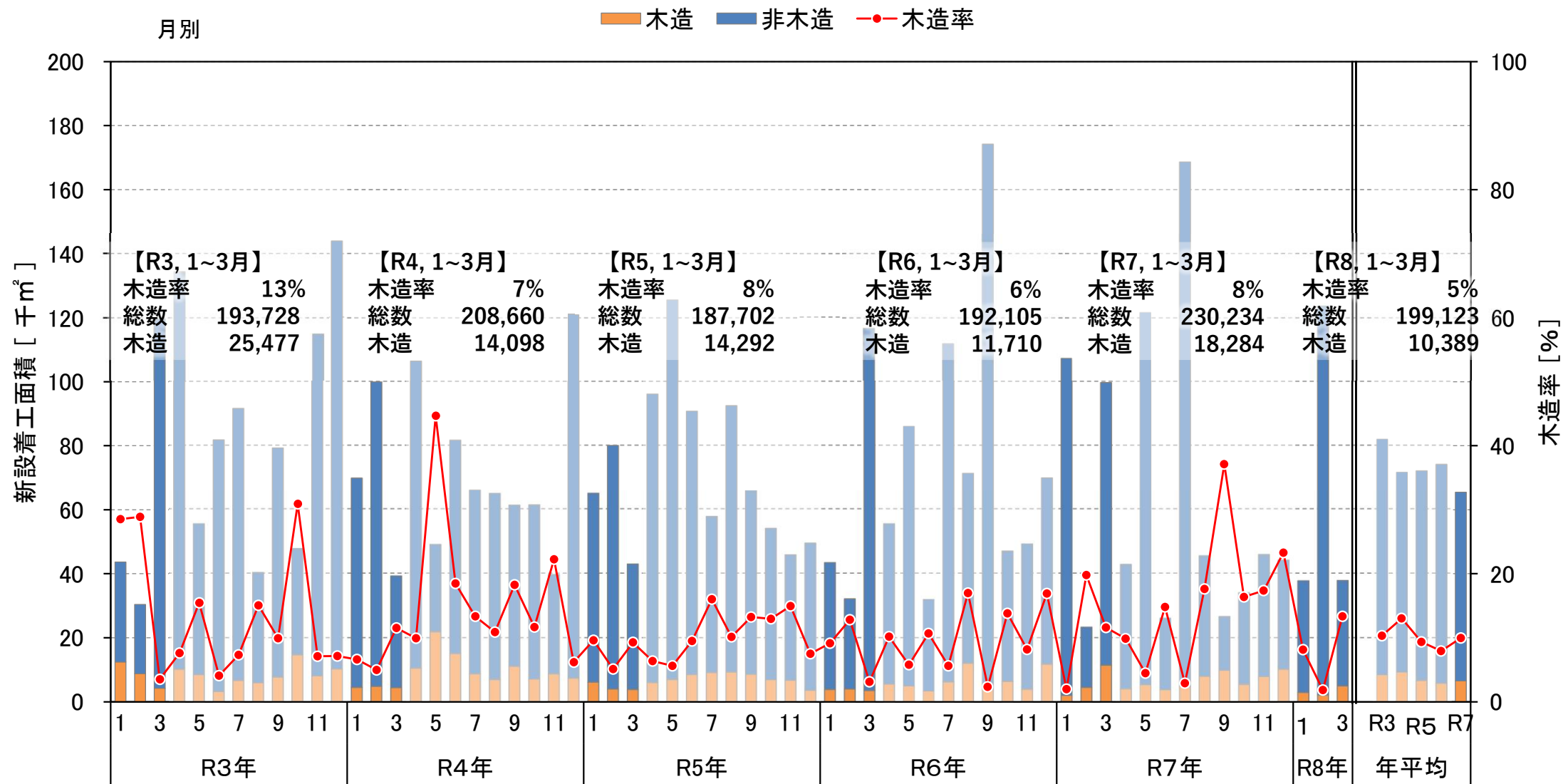
○ 岩手県の令和8年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より64,417㎡増加した。
この期間の木造は4,770㎡減少し、木造率は-15%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和3年1月～令和8年3月）

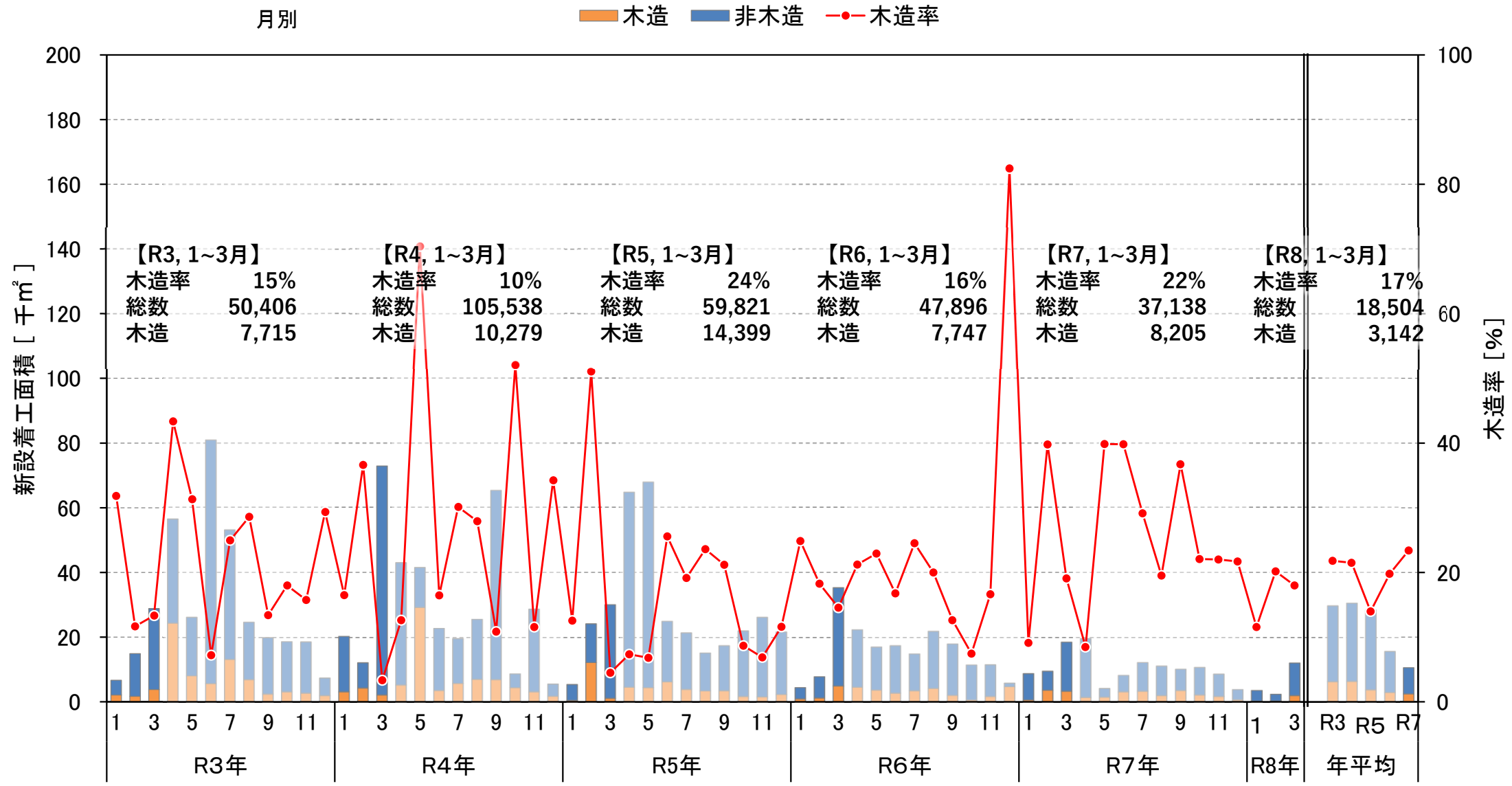
○ 宮城県の令和8年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、去年同期より31,111㎡減少した。
この期間の木造は7,895㎡減少し、木造率は-3%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和3年1月～令和8年3月)

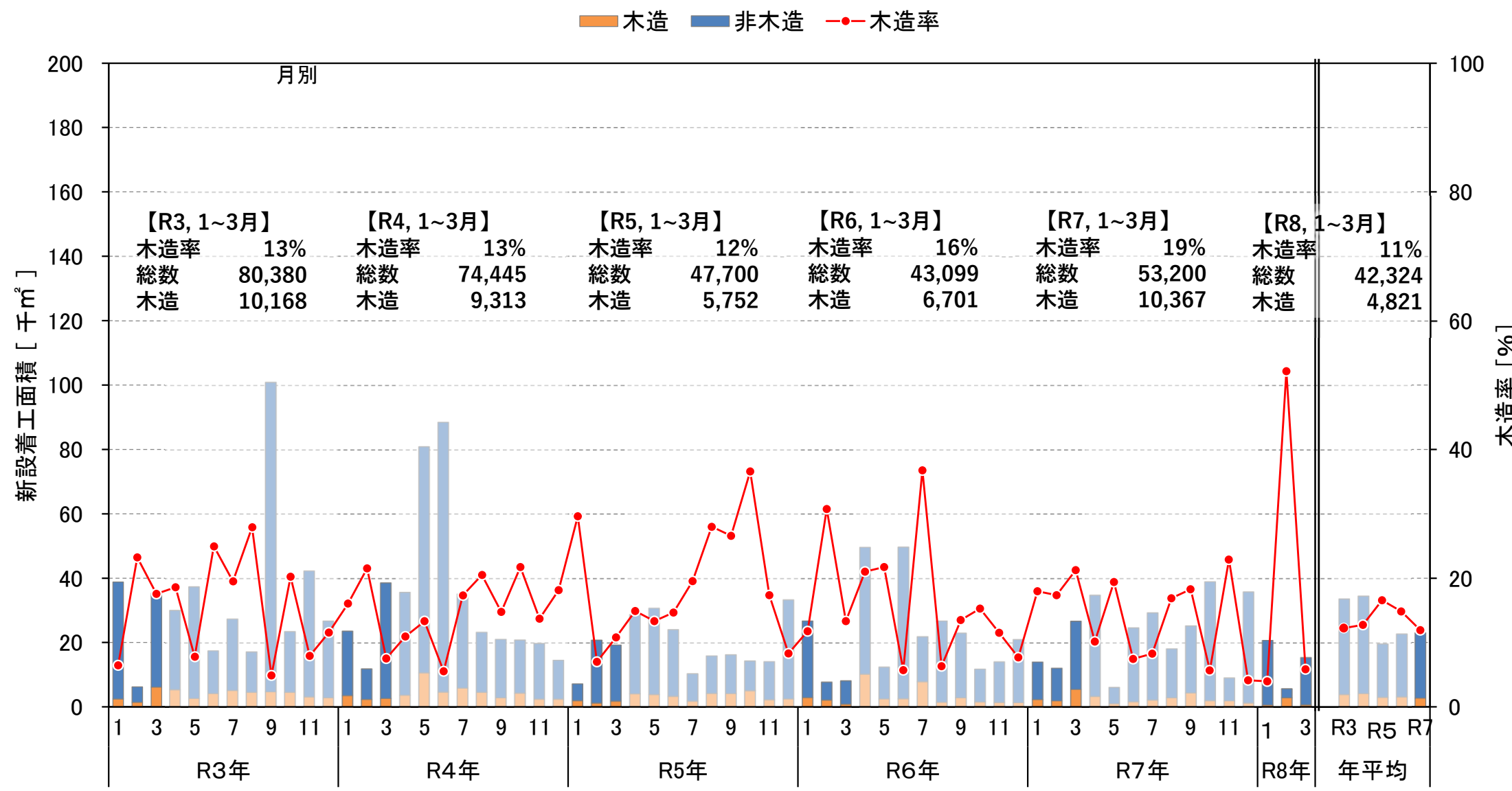
○ 秋田県の令和8年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より18,634㎡減少した。
この期間の木造は5,063㎡減少し、木造率は-5%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和3年1月～令和8年3月）

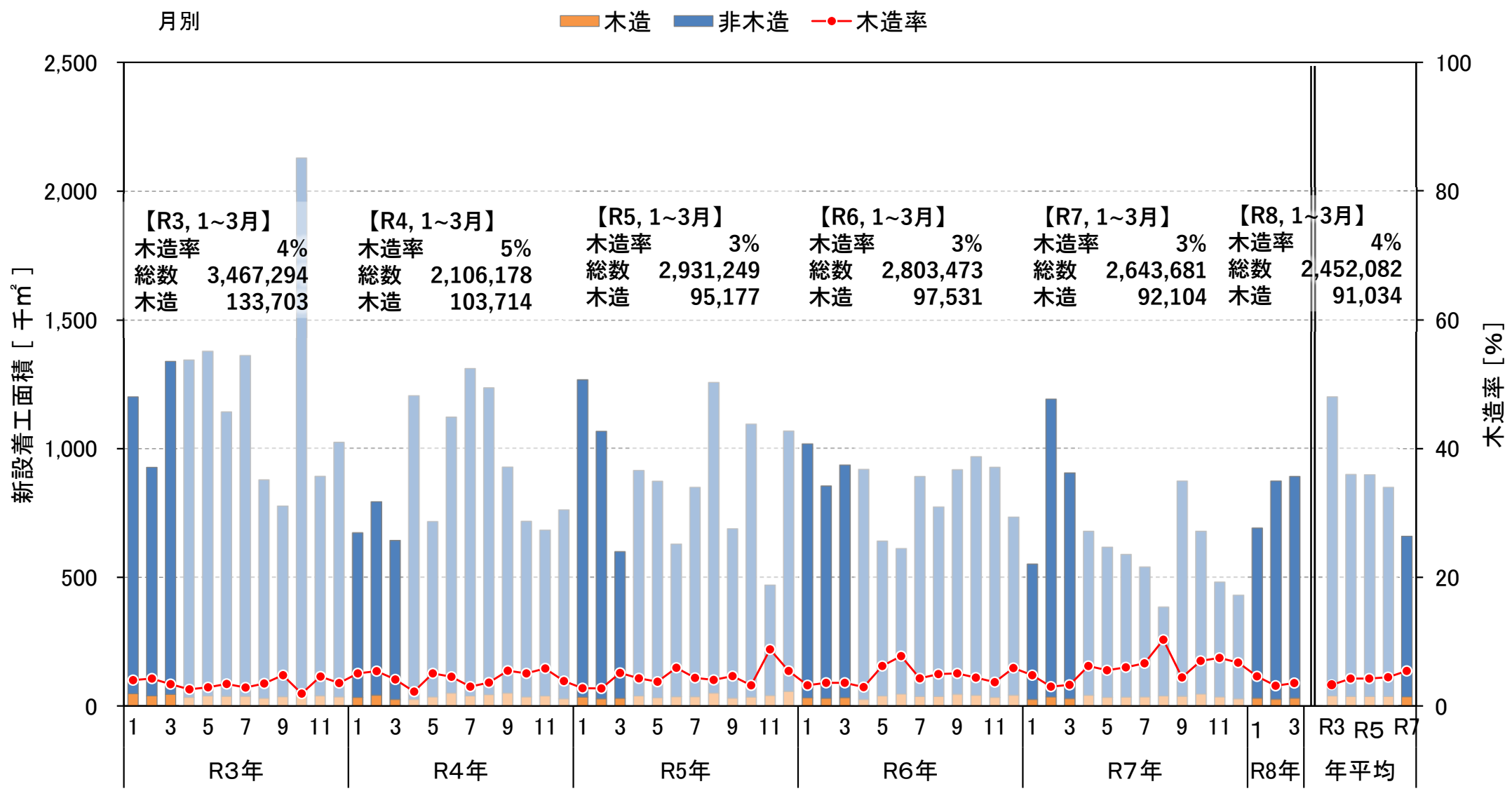
○ 山形県の令和8年1～3月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より10,876㎡減少した。
この期間の木造は5,546㎡減少し、木造率は-5%であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移 (令和3年1月～令和8年3月)

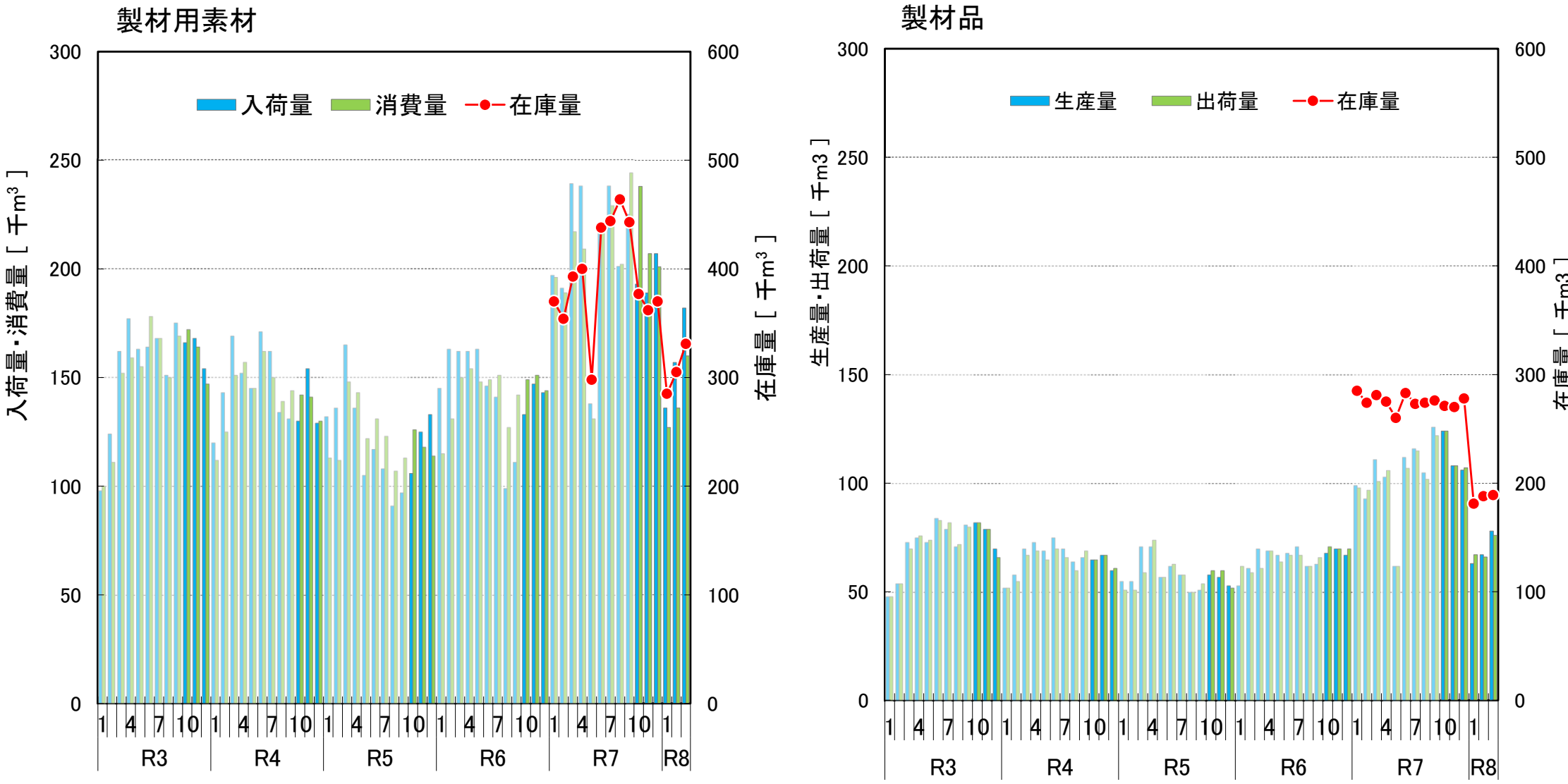
○ 関東主要都市の令和7年10～12月期の新設住宅着工数は、去年同期より1,034,870㎡減少した。
この期間の木造は7,620㎡減少し、木造率は3%増加であった。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和3年1月～令和8年3月）

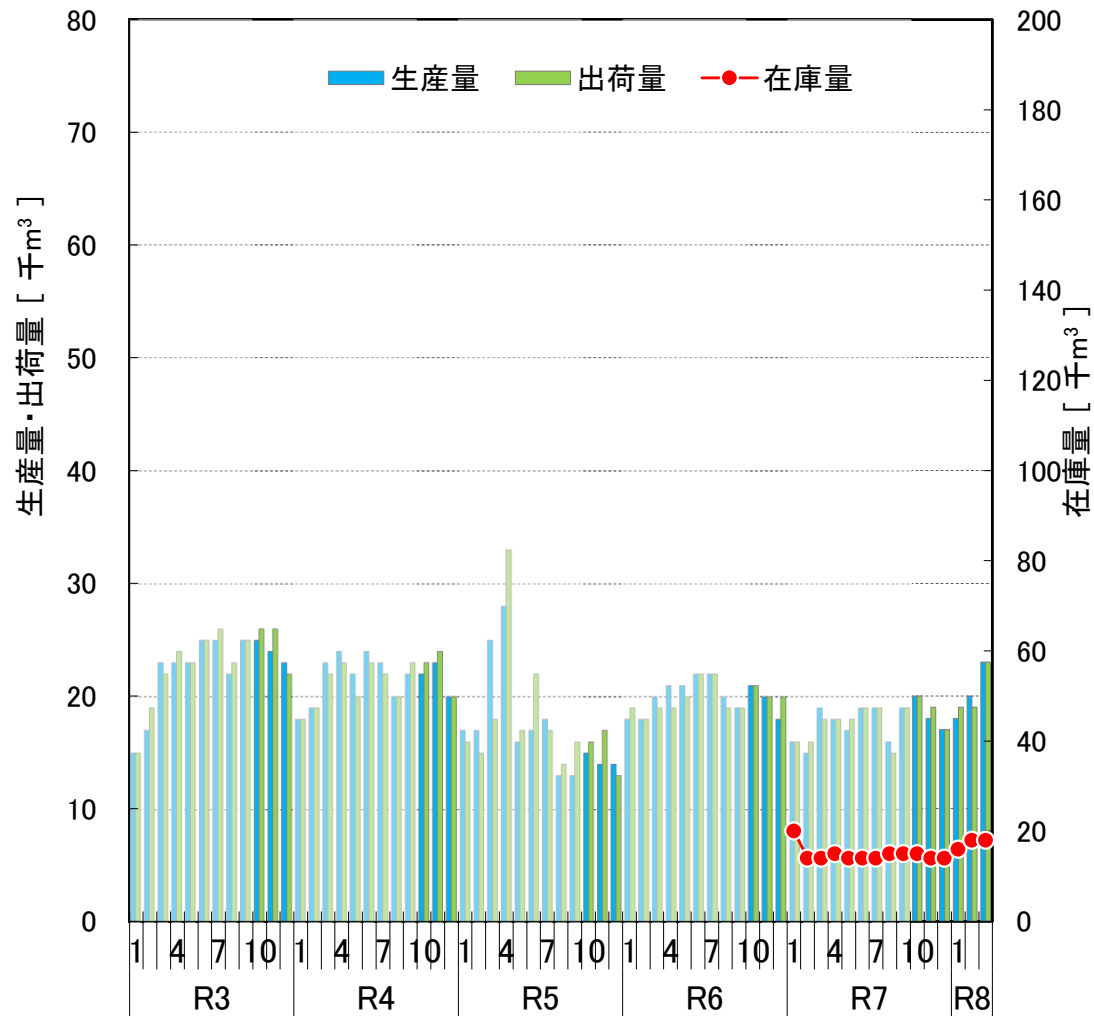
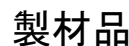
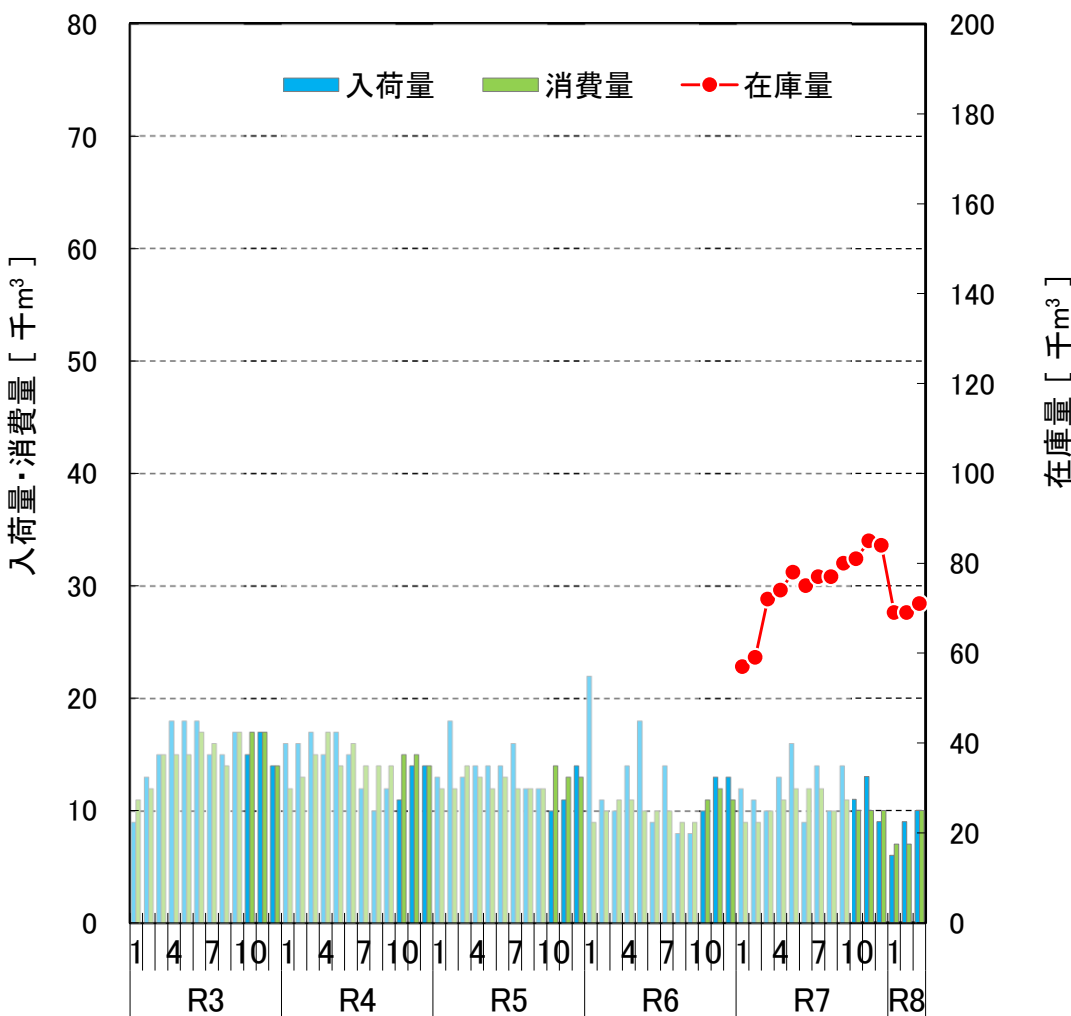
○ 東北5県の製材用素材の令和8年1～3月の入荷量は去年同期比-24%、消費量は-30%
○ 製材品の令和8年1～3月の生産量は去年同期比-31%、出荷量は-29%。



■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和3年1月～令和8年3月）

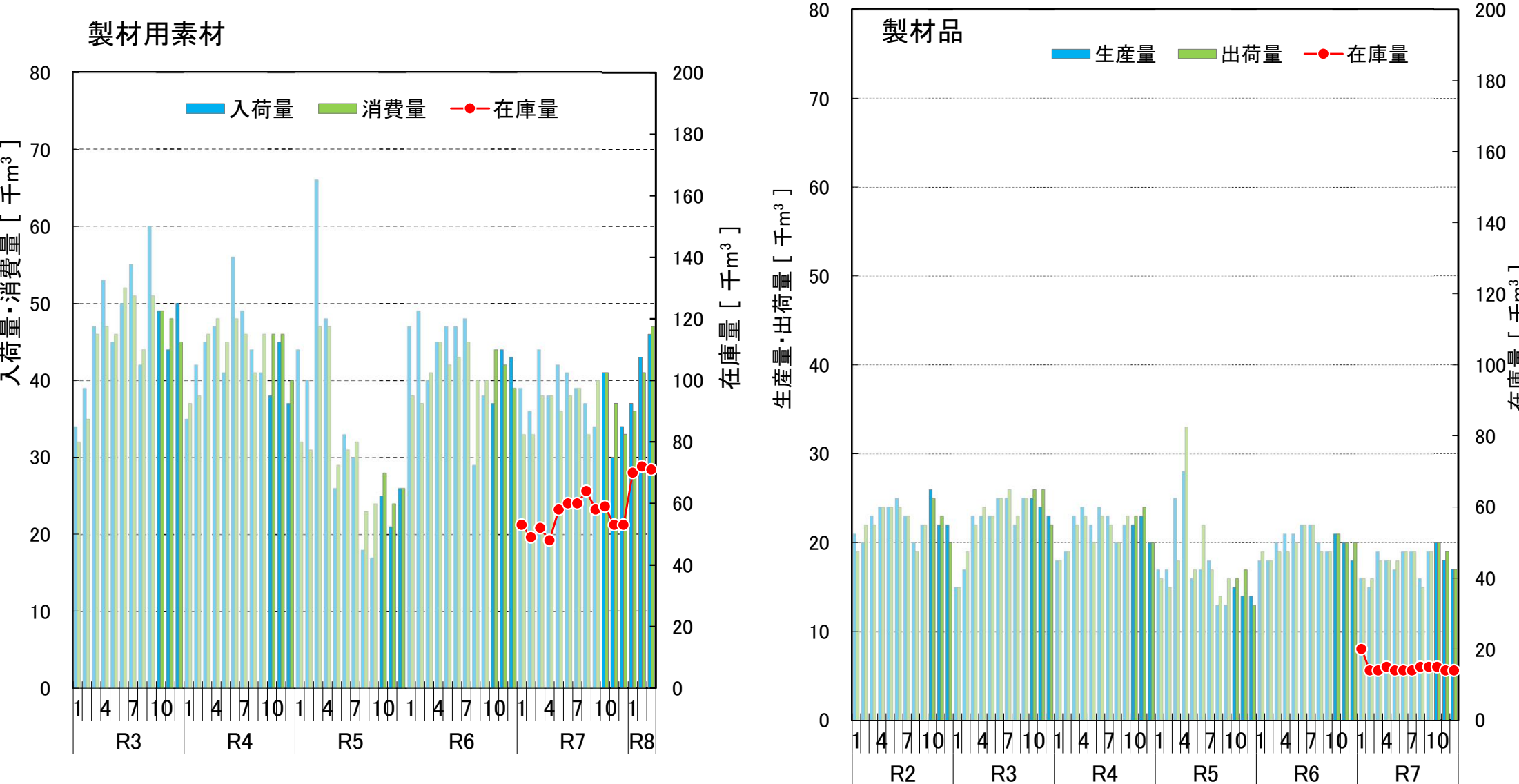
○ 製材用素材の令和8年1～3月の入荷量は昨年同期比-24%、消費量は-14%。

○ 製材品の令和8年1～3月の生産量は昨年同期比-33%、出荷量は-20%。



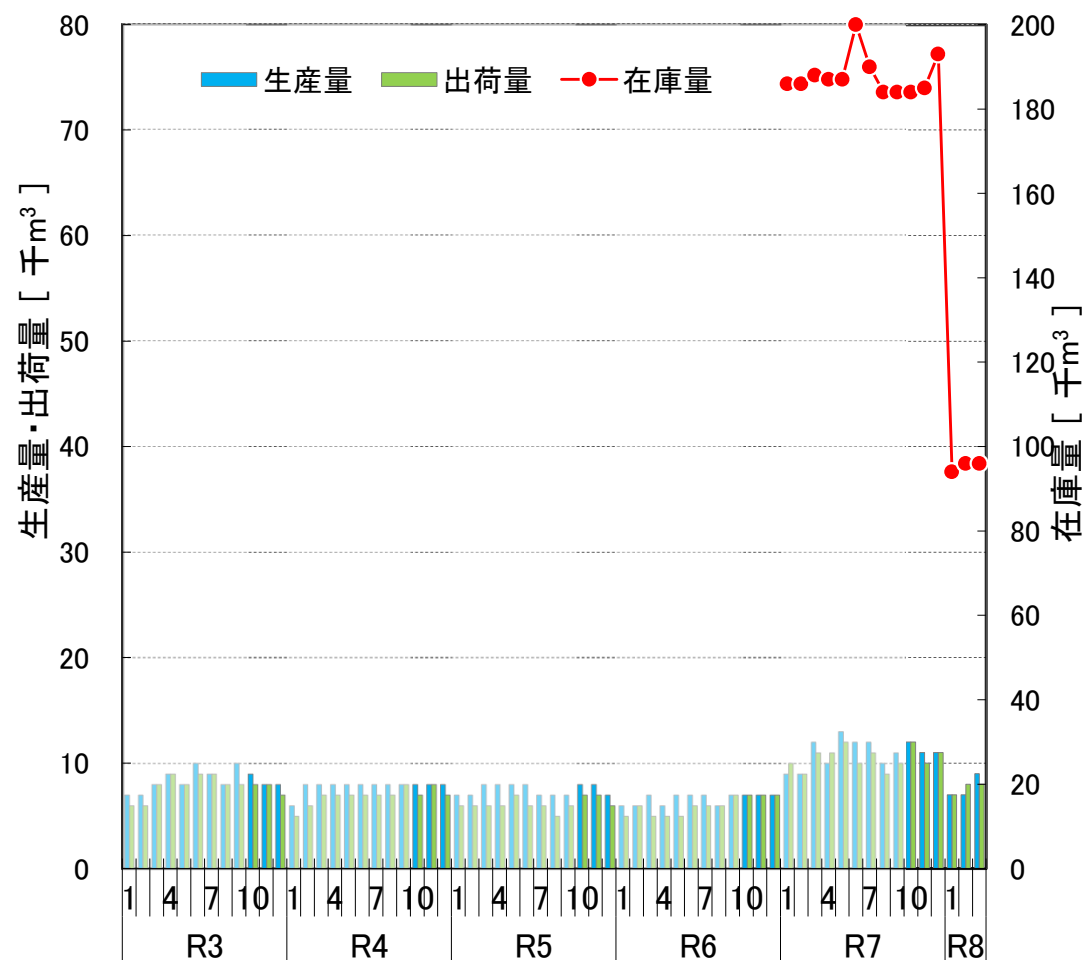
■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和3年1月～令和8年3月）

○ 製材用素材の令和8年1～3月の入荷量は去年同期比6%、消費量は19%。
○ 製材品の令和8年1～3月の生産量は去年同期比22%、出荷量は22%。



- 製材用素材の令和8年1～3月の入荷量は昨年同期比-25%、消費量は-24%。
- 製材品の令和8年1～3月の生産量は昨年同期比-23%、出荷量は-23%。

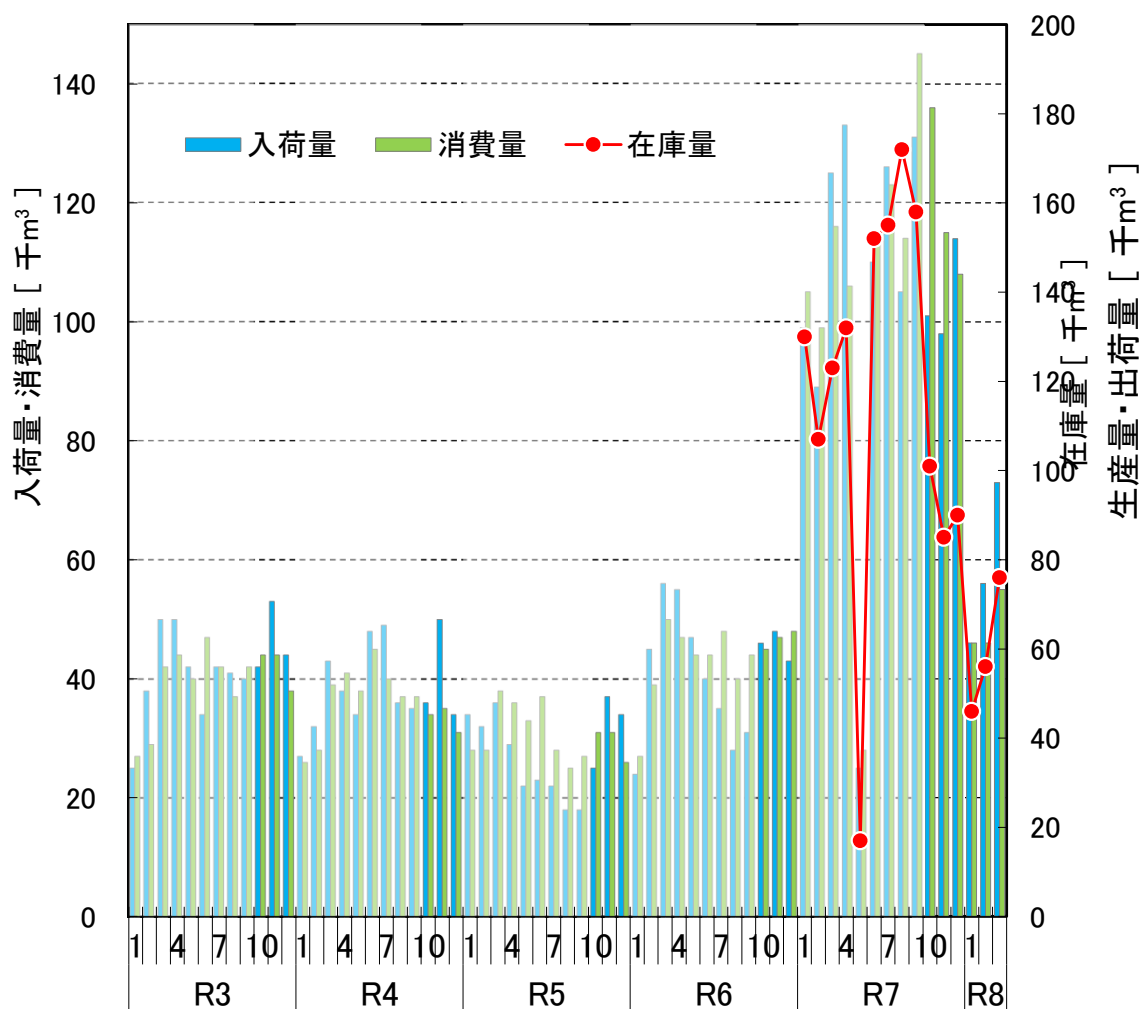
製品材料



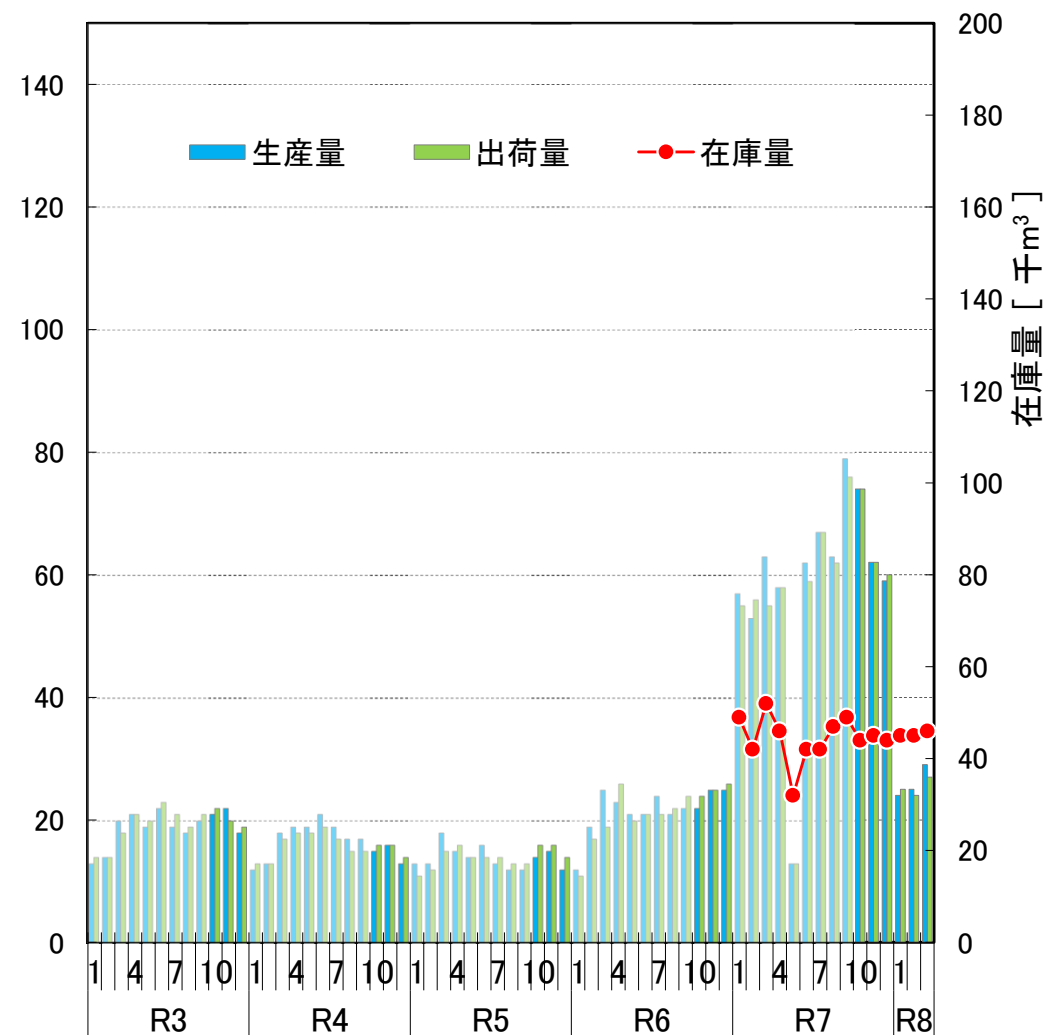
■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和3年1月～令和8年3月）

- 製材用素材の令和8年1～3月の入荷量は昨年同期比-44%、消費量は-54%。
- 製材品の令和8年1～3月の生産量は昨年同期比-55%、出荷量は-54%。

製材用素材

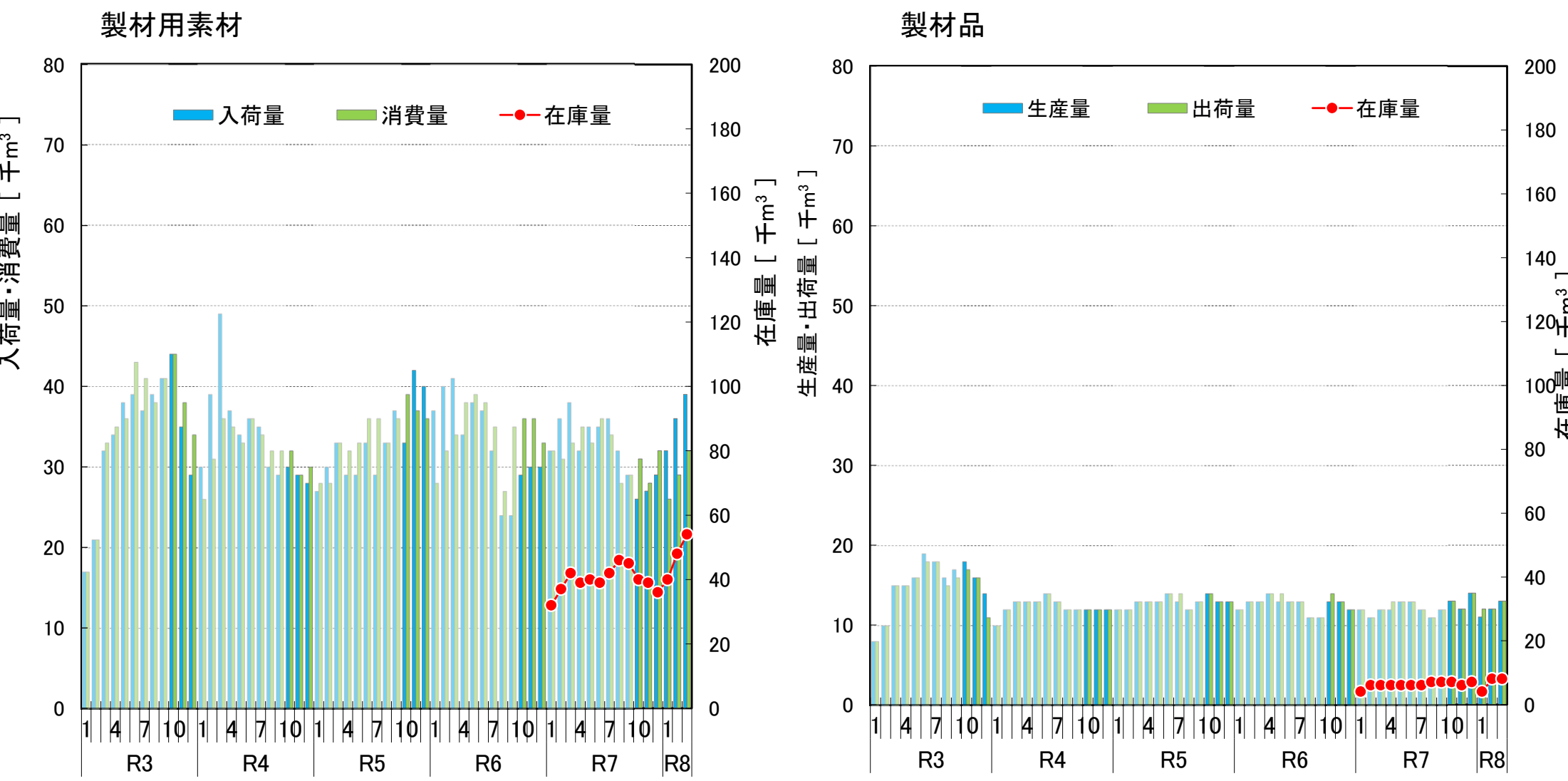


製品材料



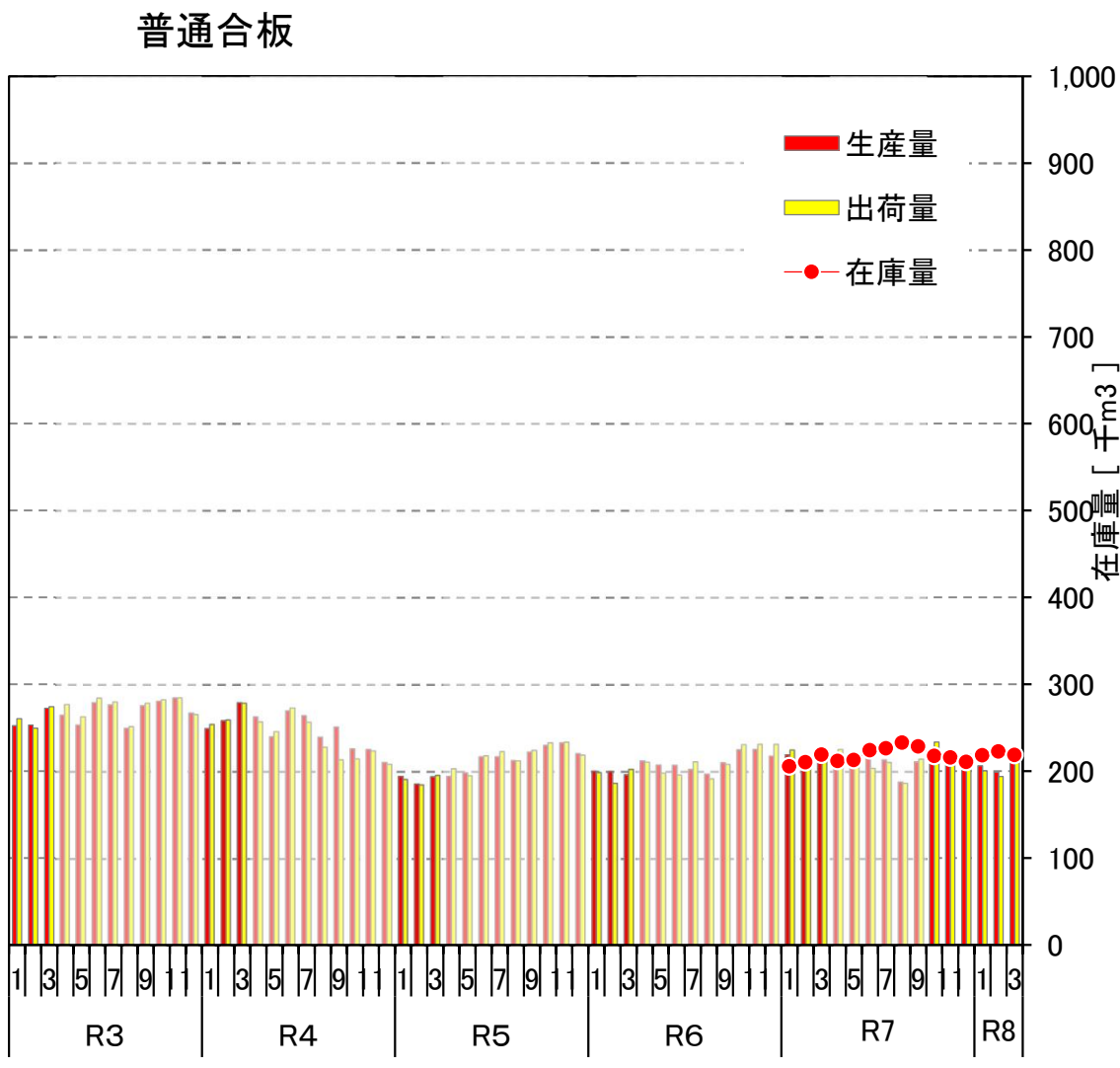
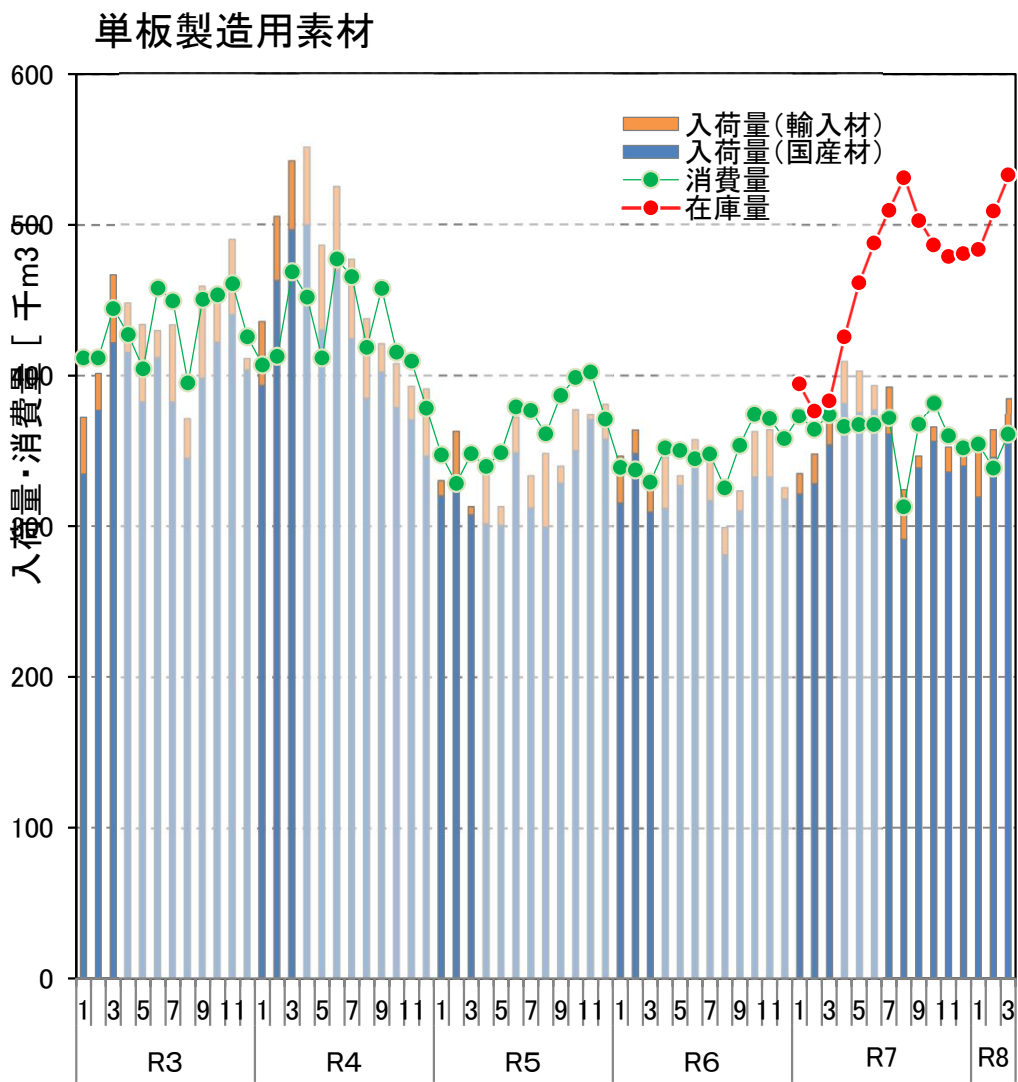
山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和3年1月～令和8年3月）

○ 製材用素材の令和8年1～3月の入荷量は昨年同期比＋1％、消費量は－9％。
○ 製材品の令和8年1～3月の生産量は昨年同期比＋3％、出荷量は＋6％。



■ 全国の単板製造用素材・普通合板の生産量等の推移（令和3年1月～令和8年3月）

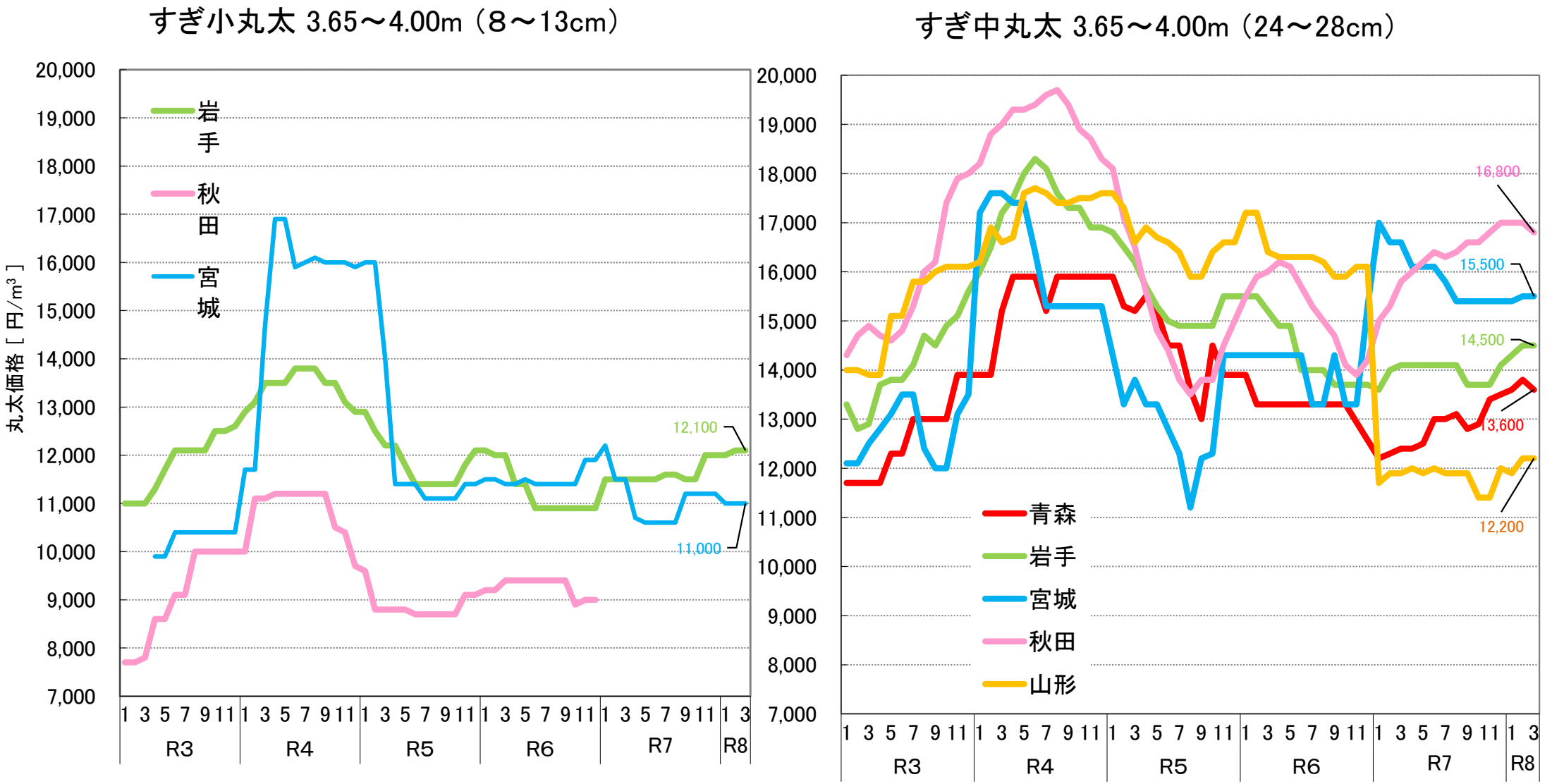
- 単板製造用素材の令和8年1～3月期の入荷量は昨年同期比＋5%、うち国産材は＋2%、消費量は－5%、在庫量は3月比＋39%。
- 普通合板の令和8年1～3月期の生産量は昨年同期比－5%、出荷量は－6%、在庫量は3月比±0%。



出典：農林水産省「合板統計」

■ すぎ丸太価格の推移（令和3年1月～令和8年3月）

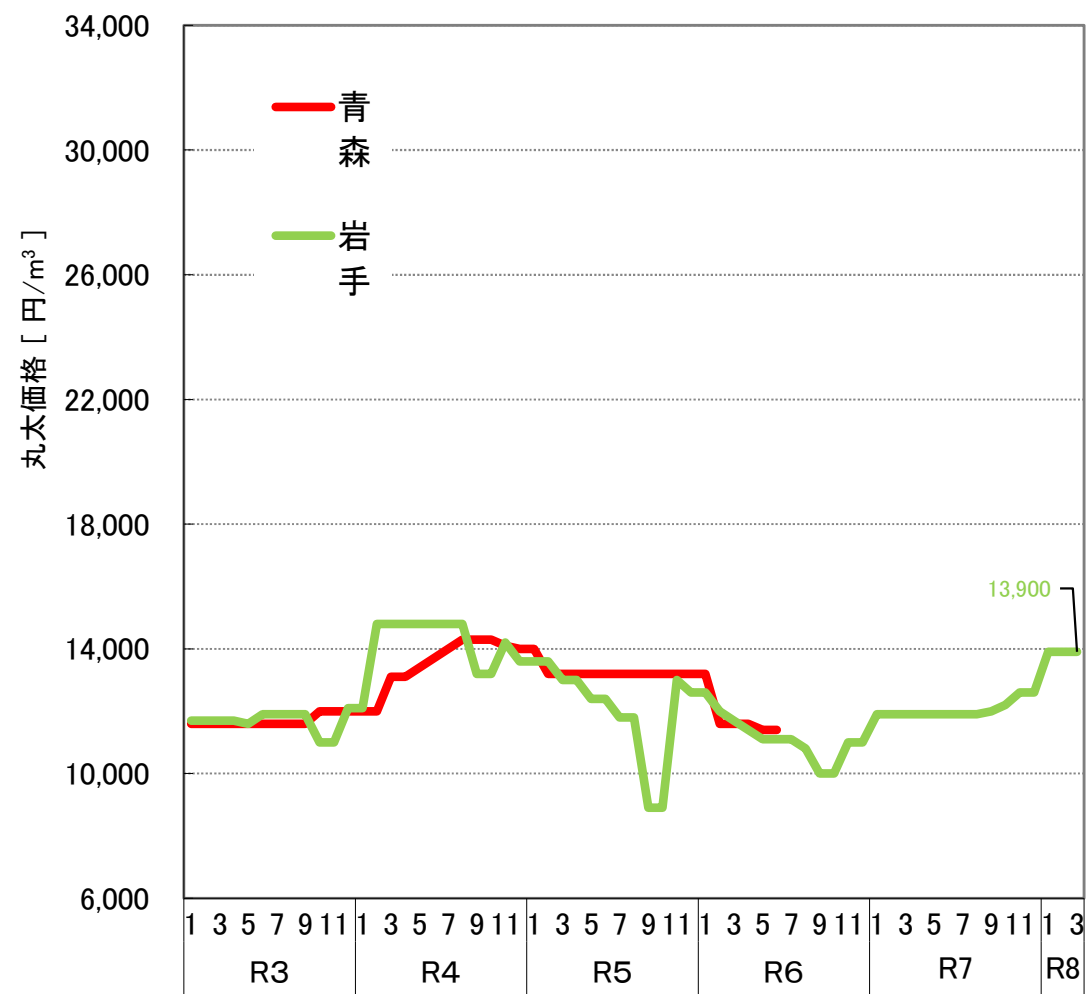
○ すぎ小丸太価格は1月以降、岩手・宮城で横ばいである。秋田県はデータなし。
○ すぎ中丸太価格は1月以降、青森・岩手・宮城・秋田・山形で横ばい。



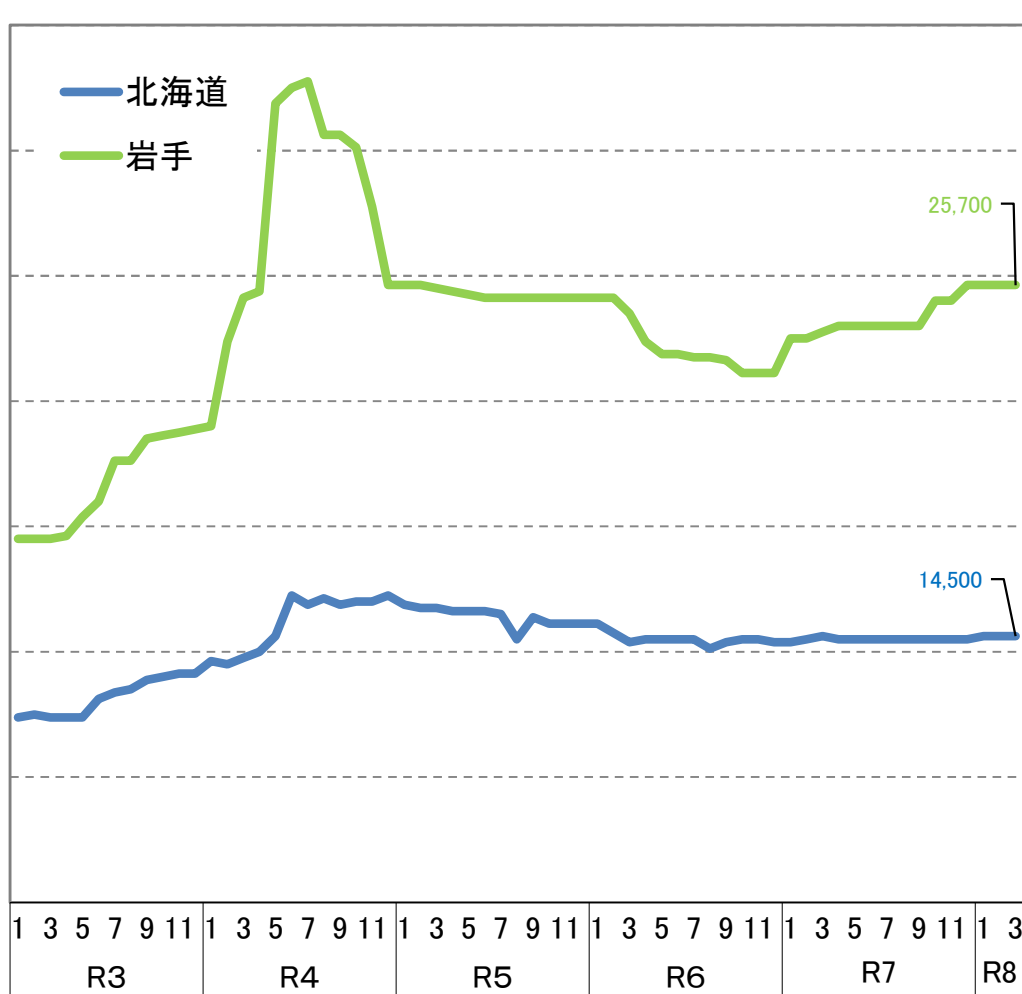
■ まつ・からまつ丸太価格の推移（令和3年1月～令和8年3月）

○まつ中丸太価格は、岩手では1月以降、横ばいで推移している。青森は昨令和6年度7月以降データなし。
○からまつ丸太価格は1月以降、岩手、北海道で横ばい。岩手と北海道の価格差は11,200円。

まつ中丸太 3.65~4.00m (24~28cm)



からまつ中丸太 3.65~4.00m (24~28cm)

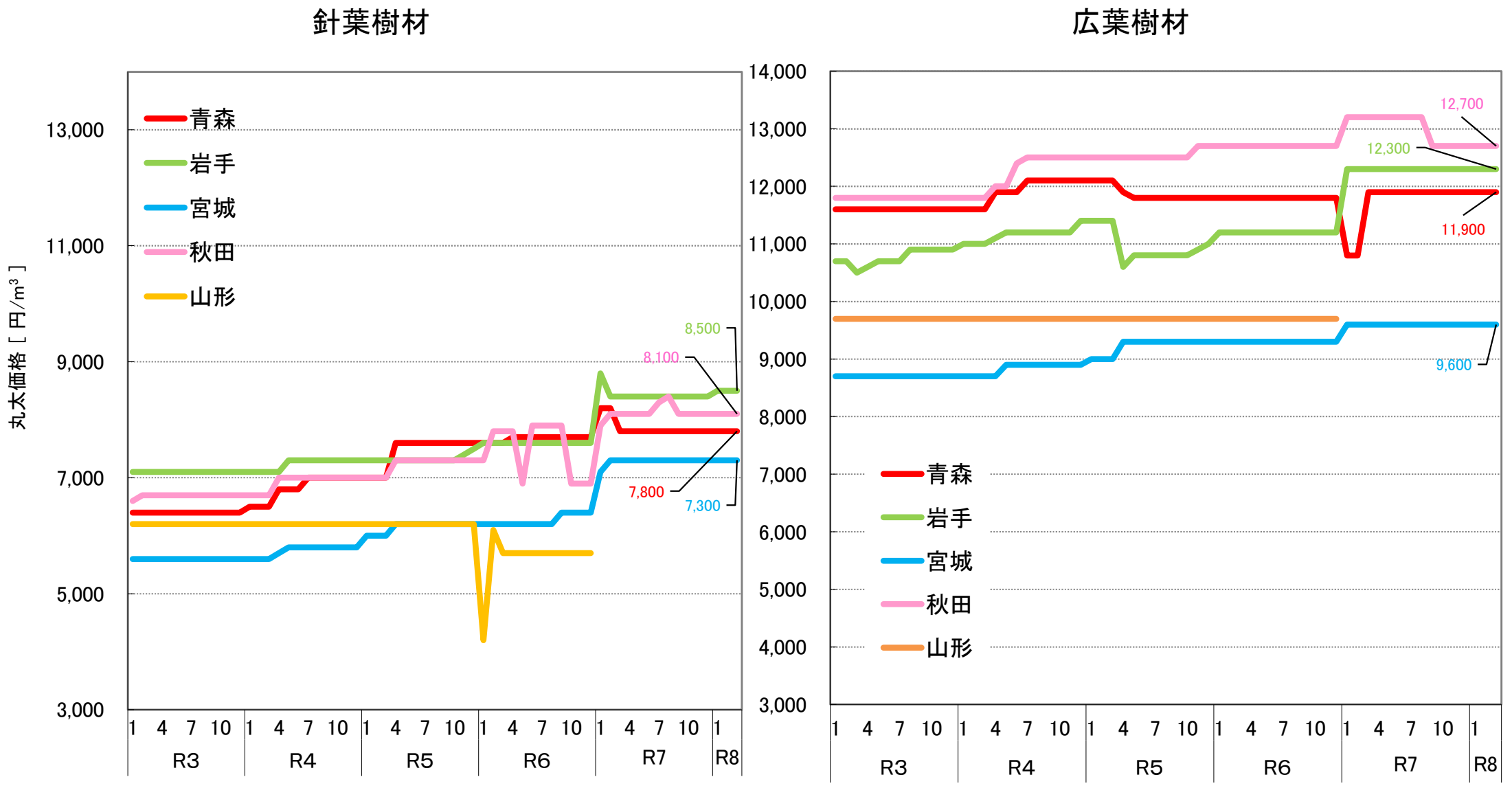


出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■チップ用丸太価格の推移（令和3年1月～令和8年3月）

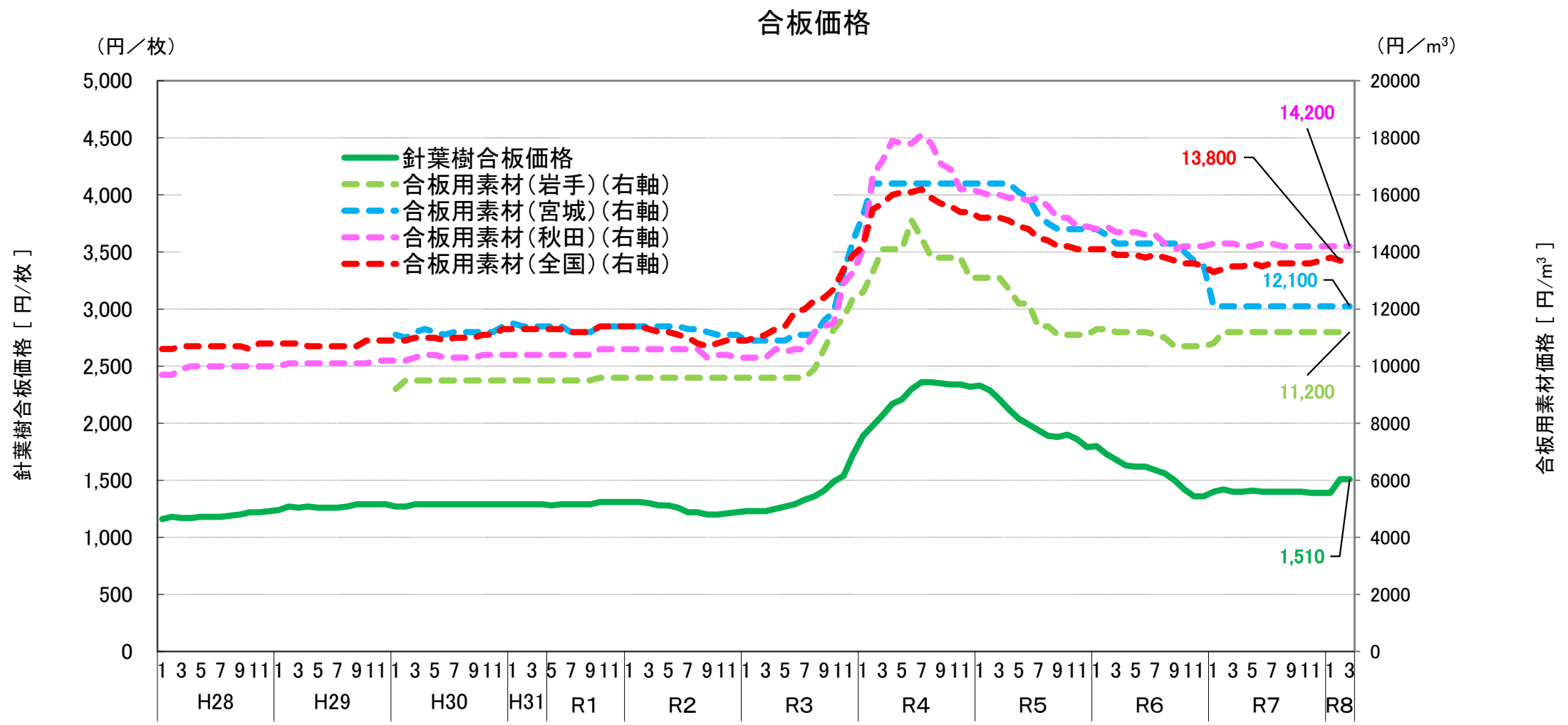
○チップ用針葉樹は、1月以降横ばい。山形県は年明け以降、データなし。

○広葉樹材も1月以降横ばいで山形県の年明け以降のデータなし。



■ 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移（平成28年1月～令和8年3月）

- 針葉樹合板価格は、1,510円/枚。
- 合板用素材価格は、1月以降横ばいである。

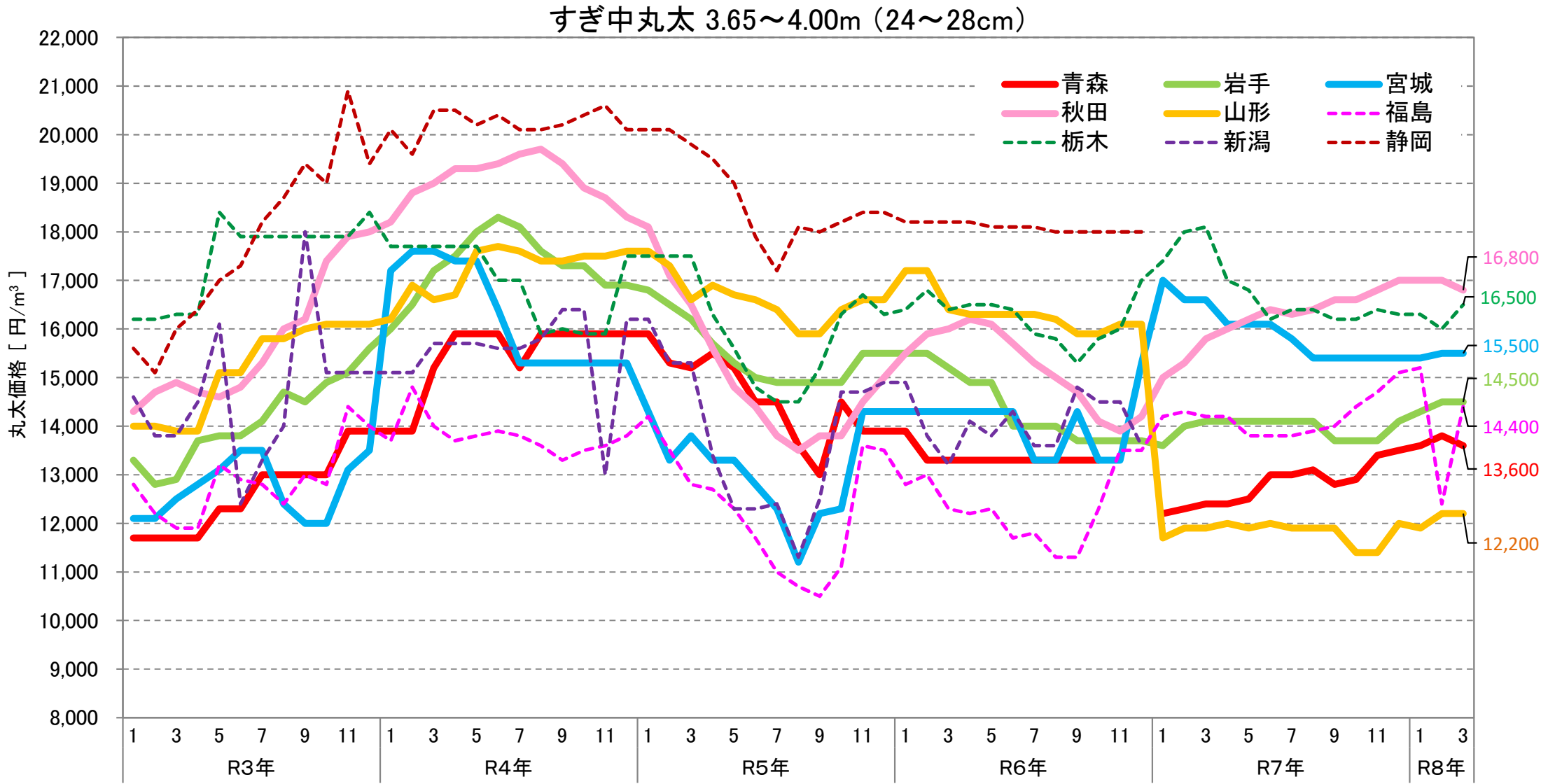


針葉樹合板：厚さ1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類

出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」
※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。
※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

■ 関東地方との木材価格の比較（令和3年1月～令和8年3月）

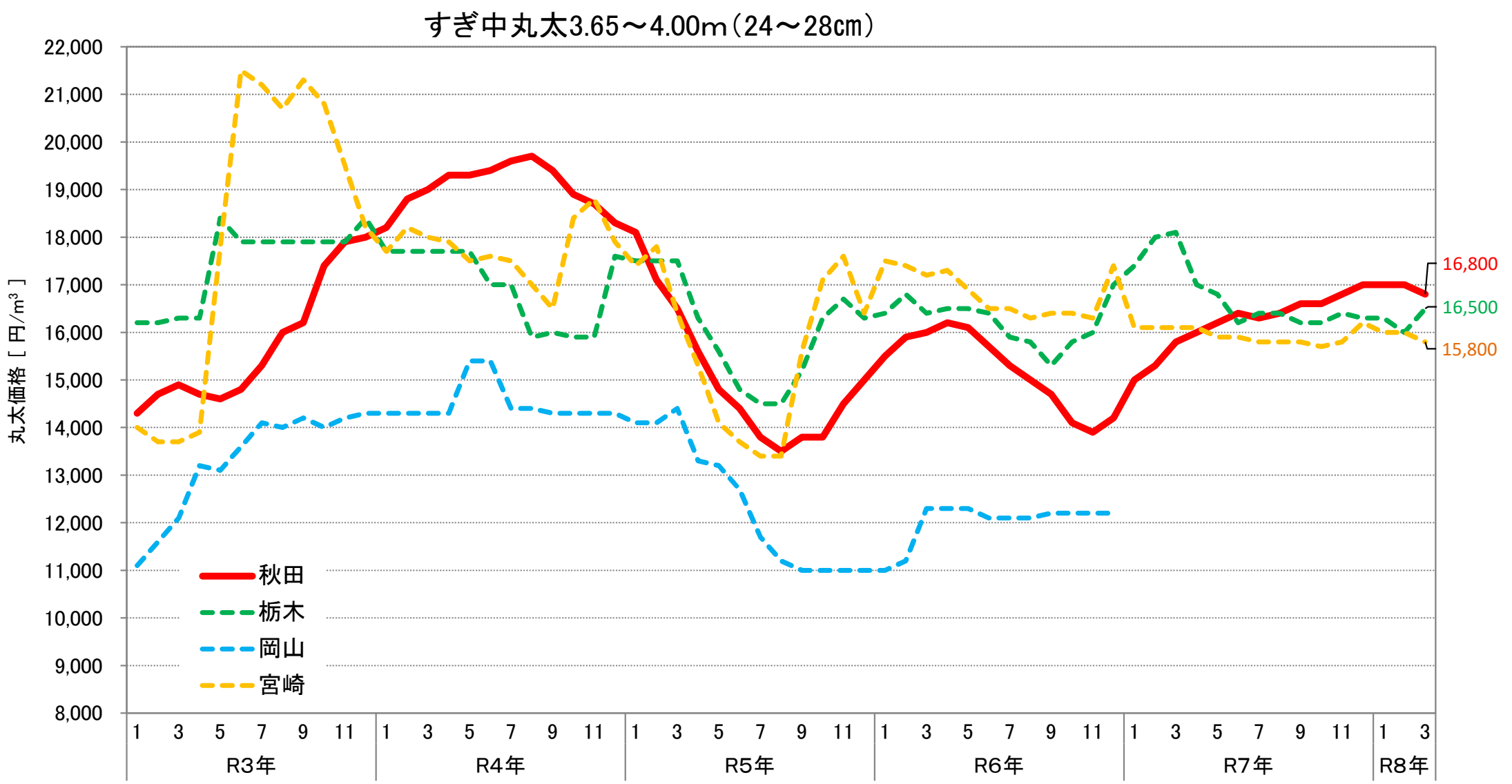
○ すぎ中丸太の価格は、1月以降栃木は値上がり傾向にあり、青森・岩手・宮城・秋田・山形は横ばいである。
○ 福島・栃木では2月に下落している。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較（令和3年1月～令和8年3月）

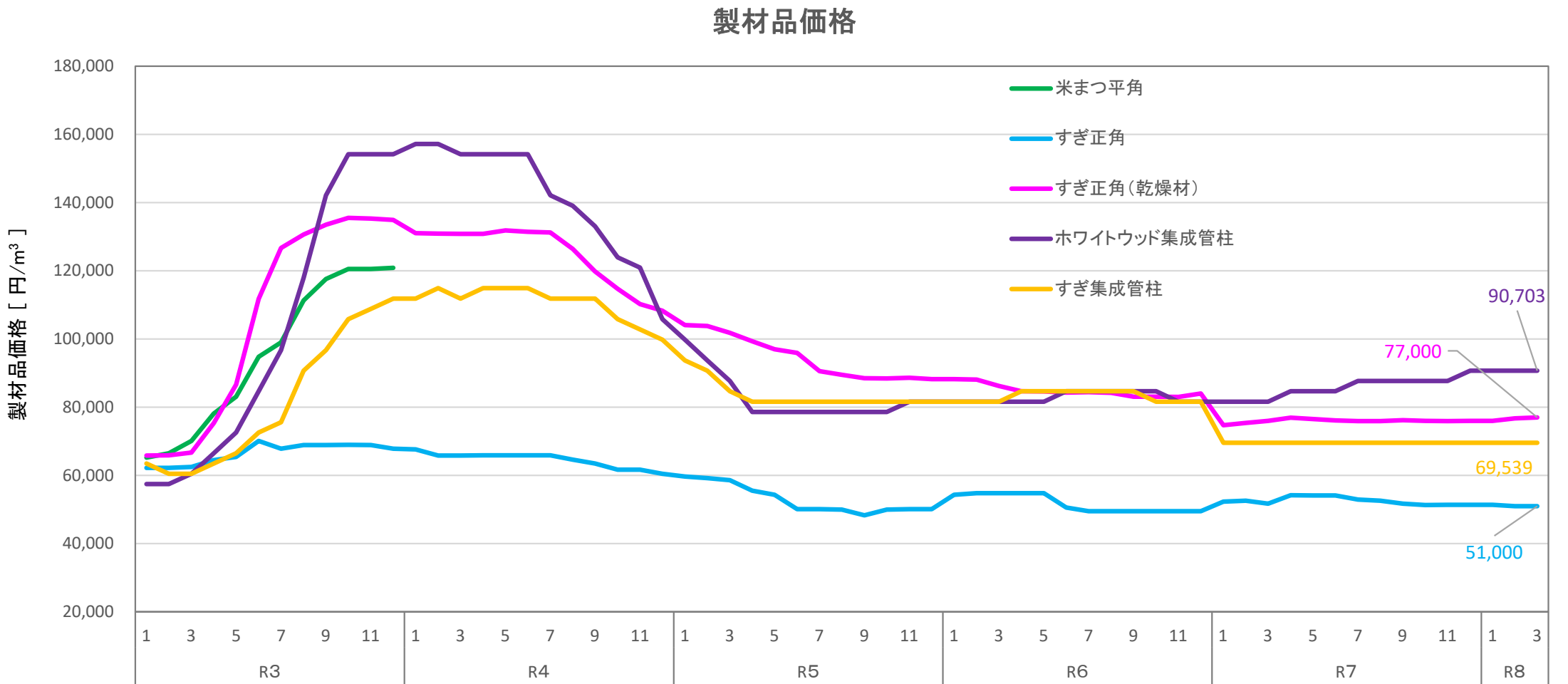
○ 1月から3月にかけて秋田・宮崎で200円/m³の値下がり、栃木で200円/m³の値上げとなっている。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

全国の製材品主要品目価格の推移 （令和3年1月～令和8年3月）

○ すぎ正角（乾燥材）は1月以降値上がり傾向にある。すぎ集成管柱・Wウッドは1月以降同価格・横ばい。すぎ正角は値下がりしている。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。

※2 令和2年1月から、ホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。

※3 令和4年1月調査から、米まつ平角の製材品価格の把握は廃止された。

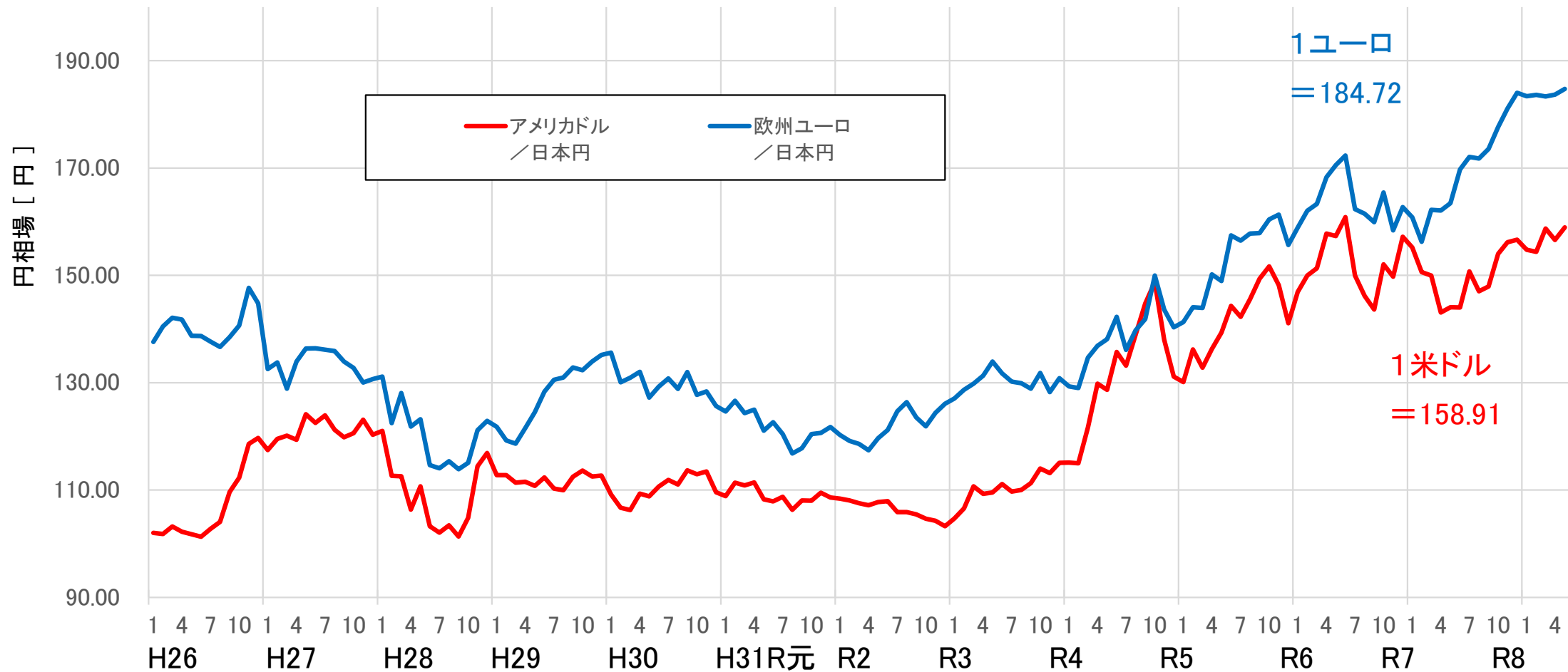
30

為替レートの推移（平成26年1月～令和8年5月）

○ 米ドルは、5月1日現在158円台。

○ 欧州ユーロは、5月1日現在184円台。

為替レートの推移

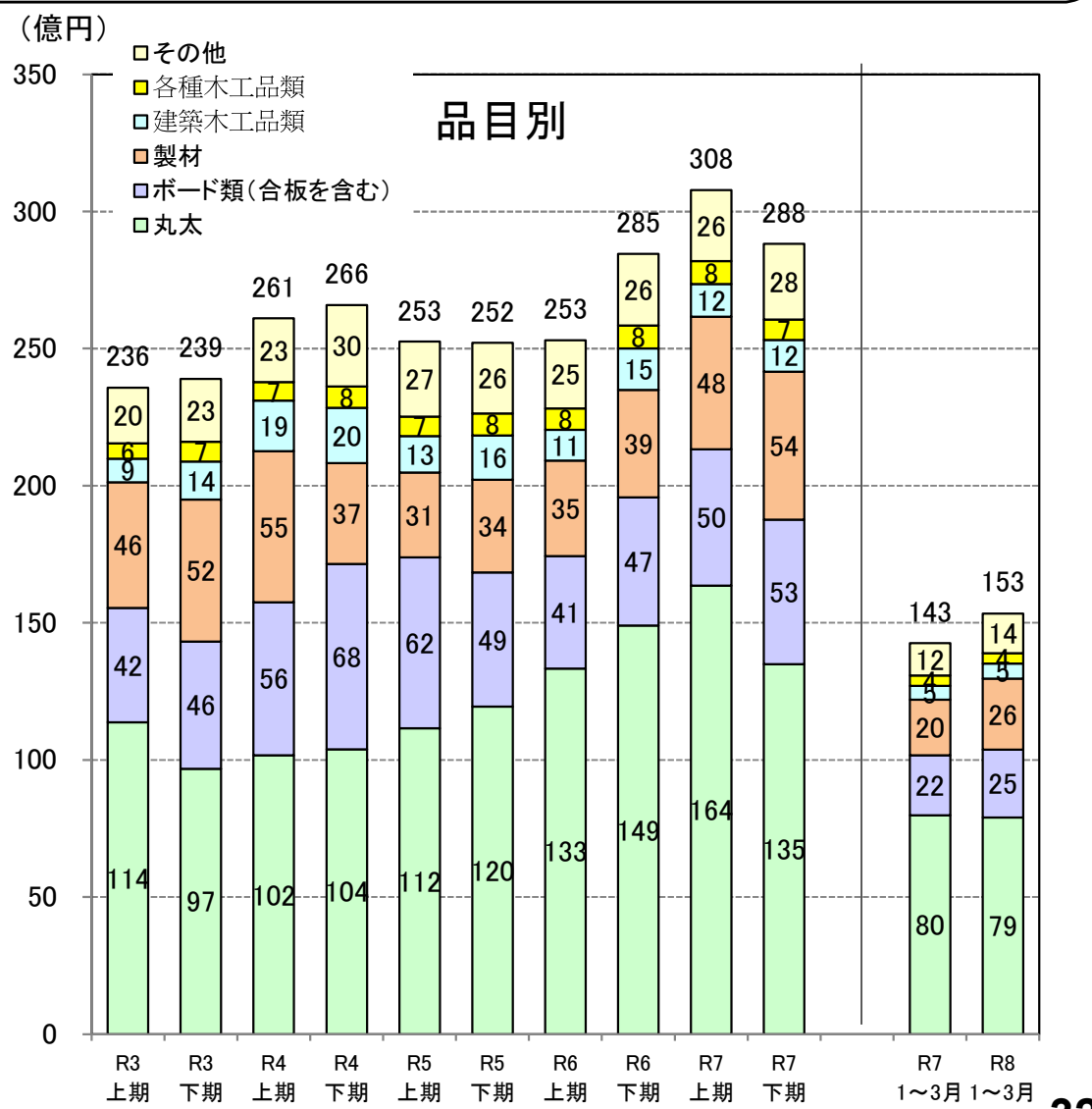
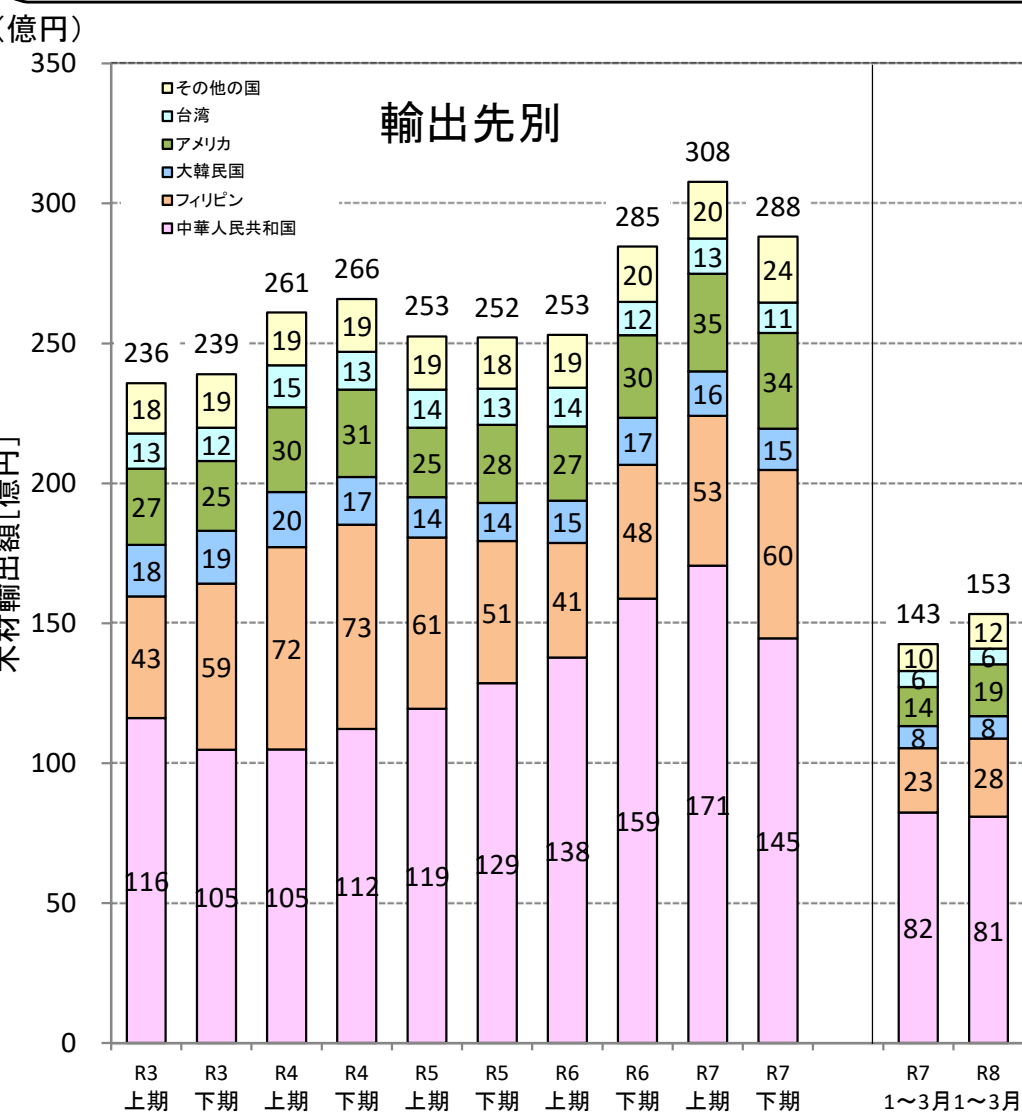


出典：Yahoo! ファイナンス（毎月の値は月初日の終値）

（注）：令和8年2月1日現在

輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移（全国）

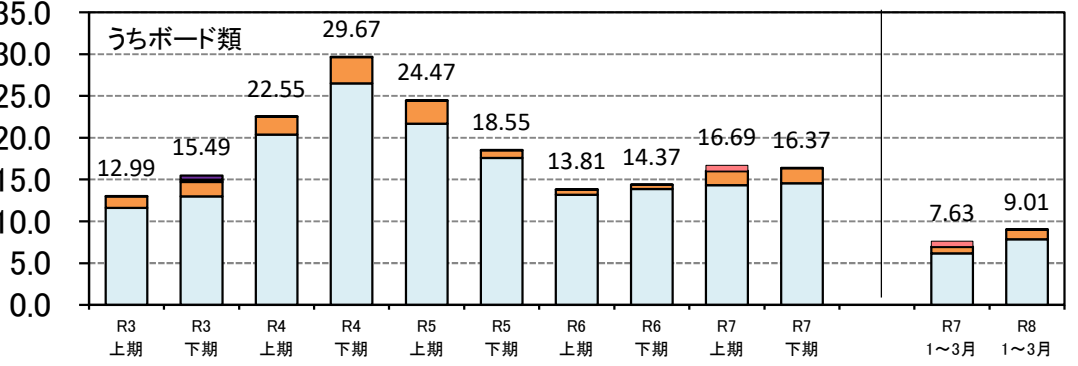
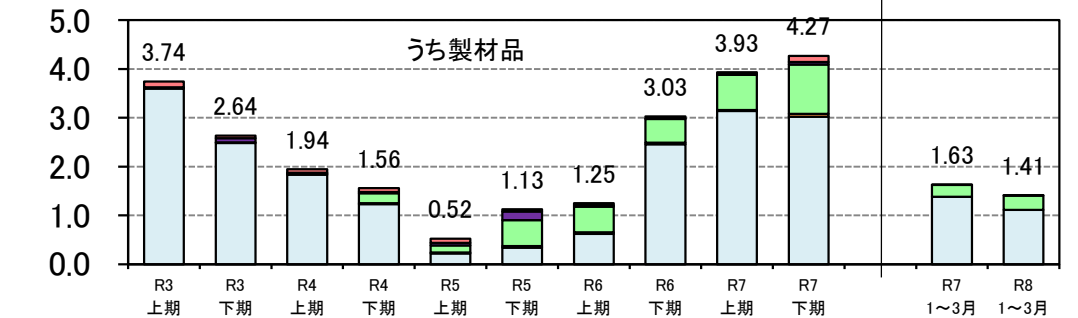
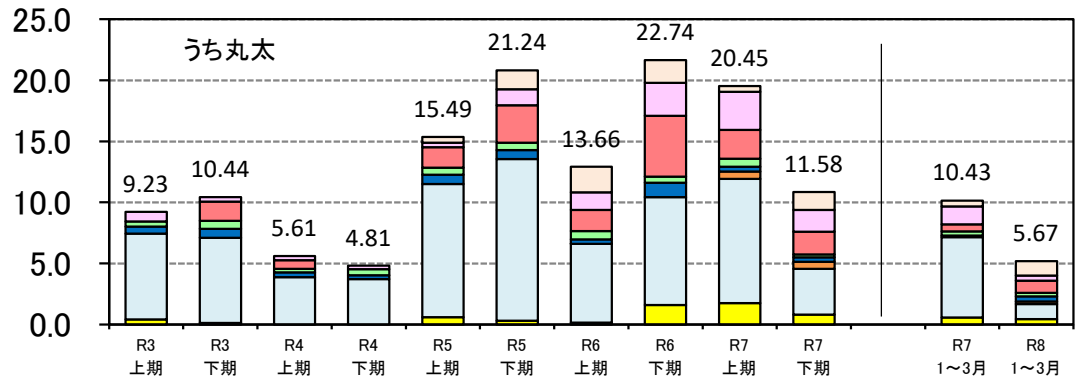
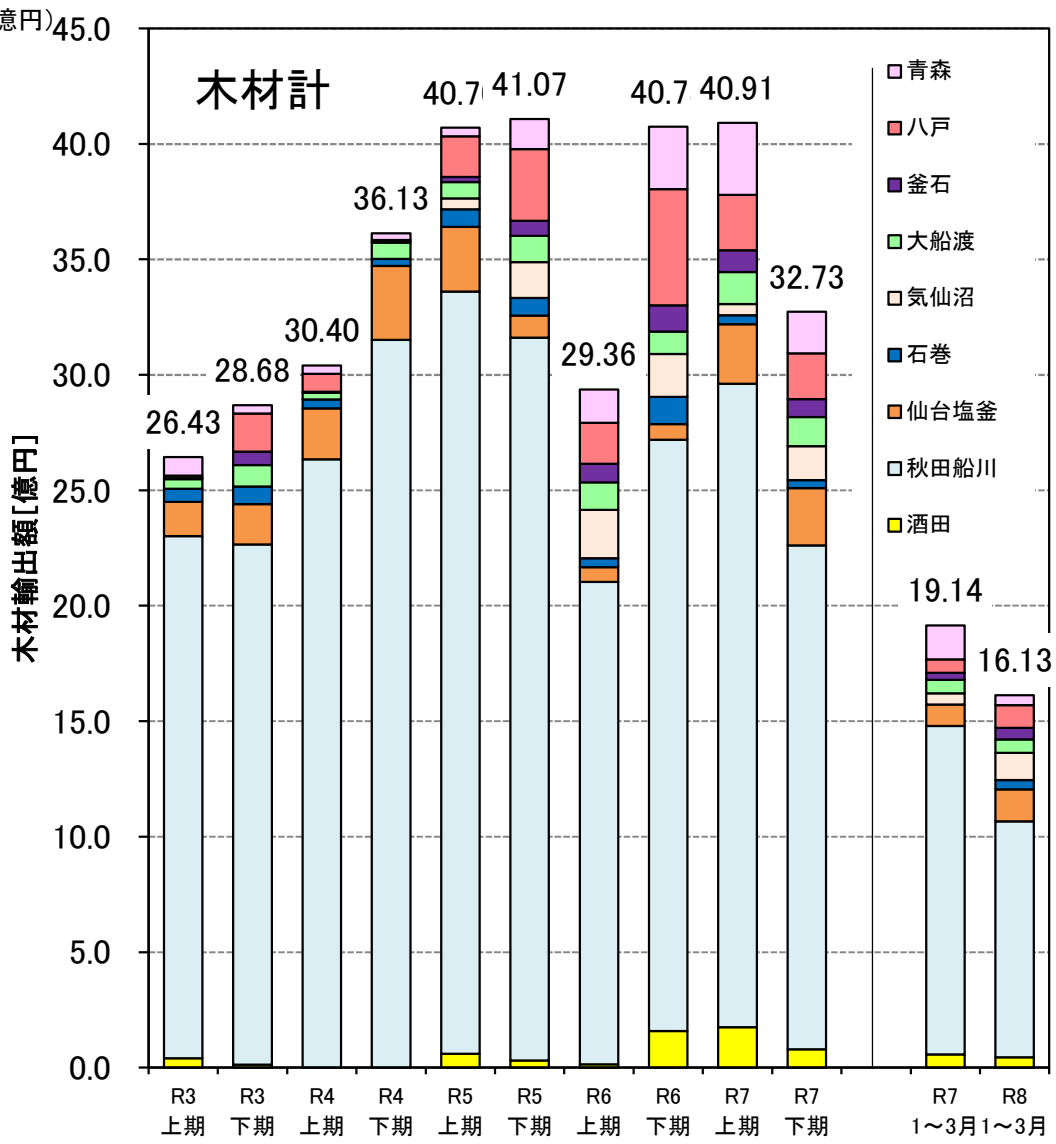
- 木材輸出額はR8年1～3月期を昨年同期と比較すると108%となっている。
- R8年1～3月期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では、丸太が最も高く、次いで製材、ボード類となっている。
- R8年1～3月期と昨年同期を比較すると、丸太が－1%、製材が＋28%、ボード類が＋13%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における木材輸出額の推移

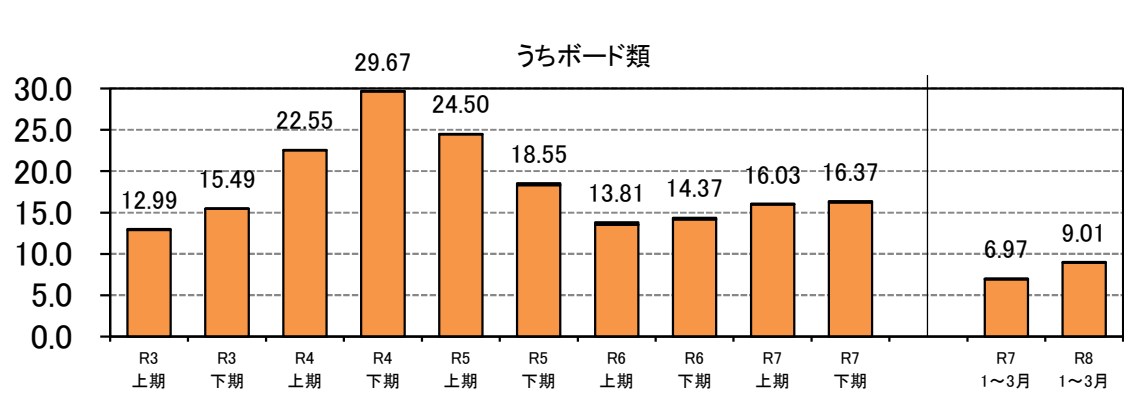
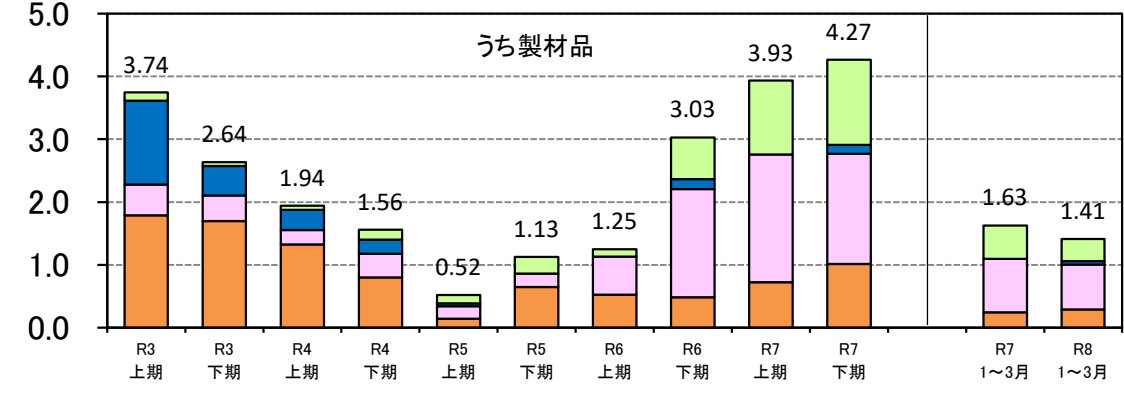
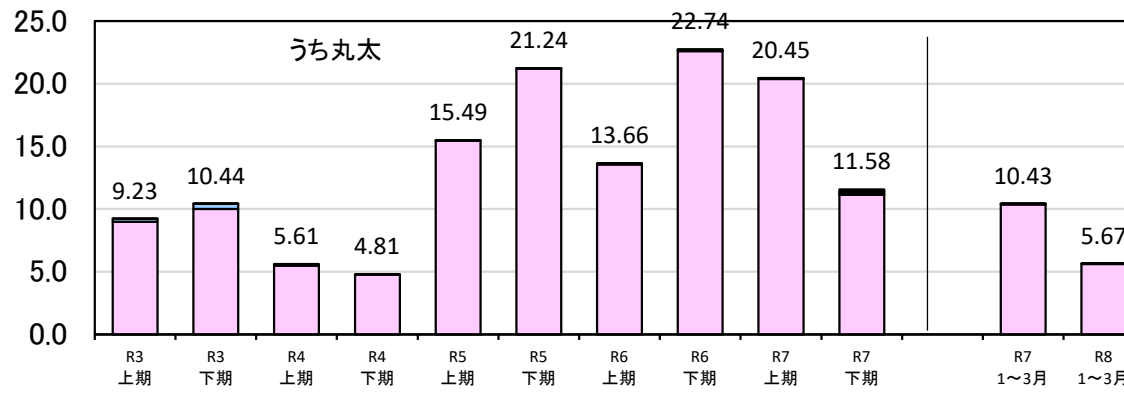
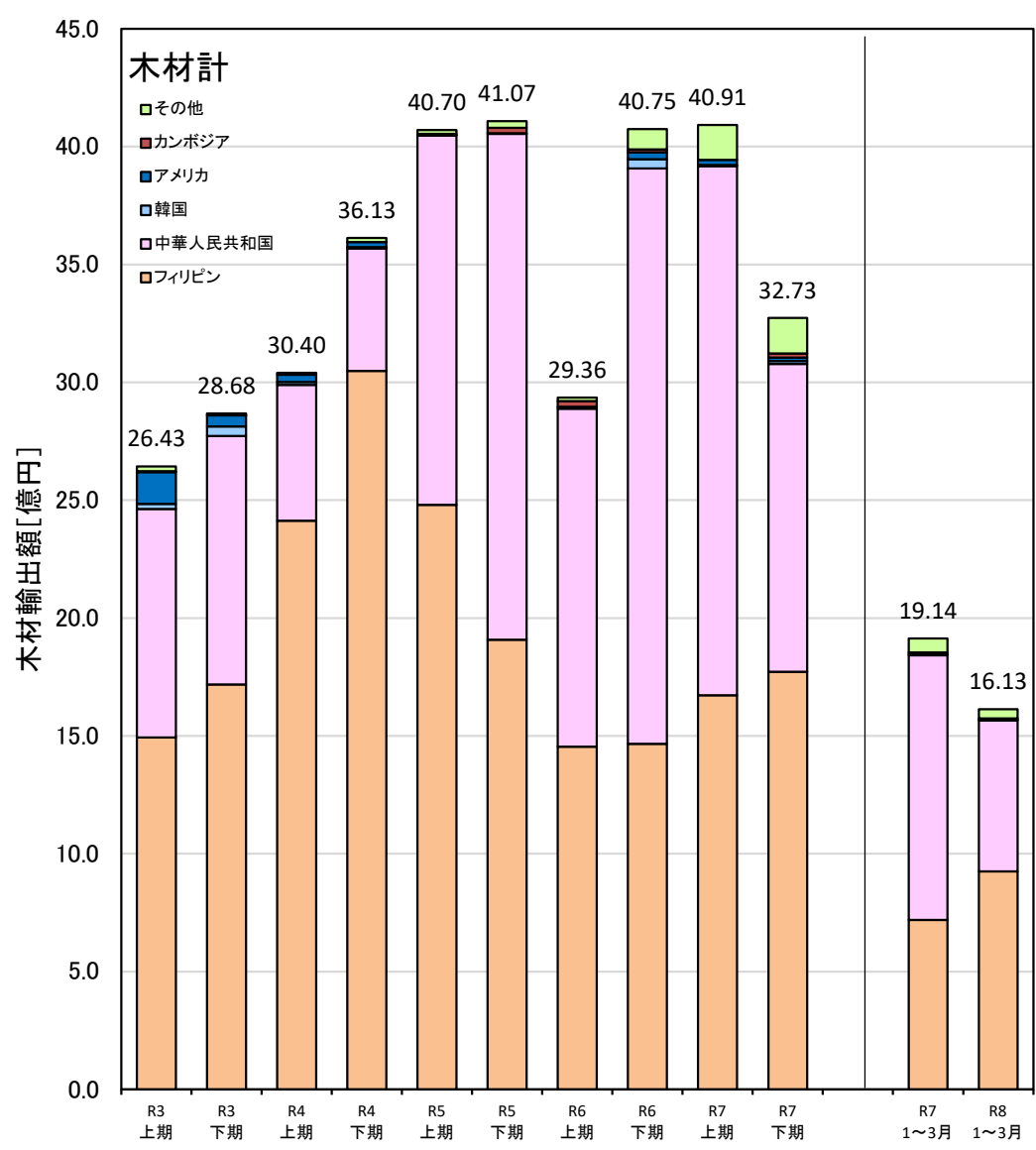
- R8年1～3月期と昨年同期を比較すると-15.7%となっている。
- 品目別のR8年1～3月期は昨年同期と比較して、丸太が-45.6%、製材が-13.1%、ボード類が+29.3%となっている。



出典: 財務省「貿易統計: 統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

○ R8年1～3月期の木材輸出額は、フィリピンが最も多く、次いで中国、アメリカ合衆国となっている。
○ 品目別では、丸太、製材は中国が最も多く、ボード類はフィリピンが最も多くなっている。

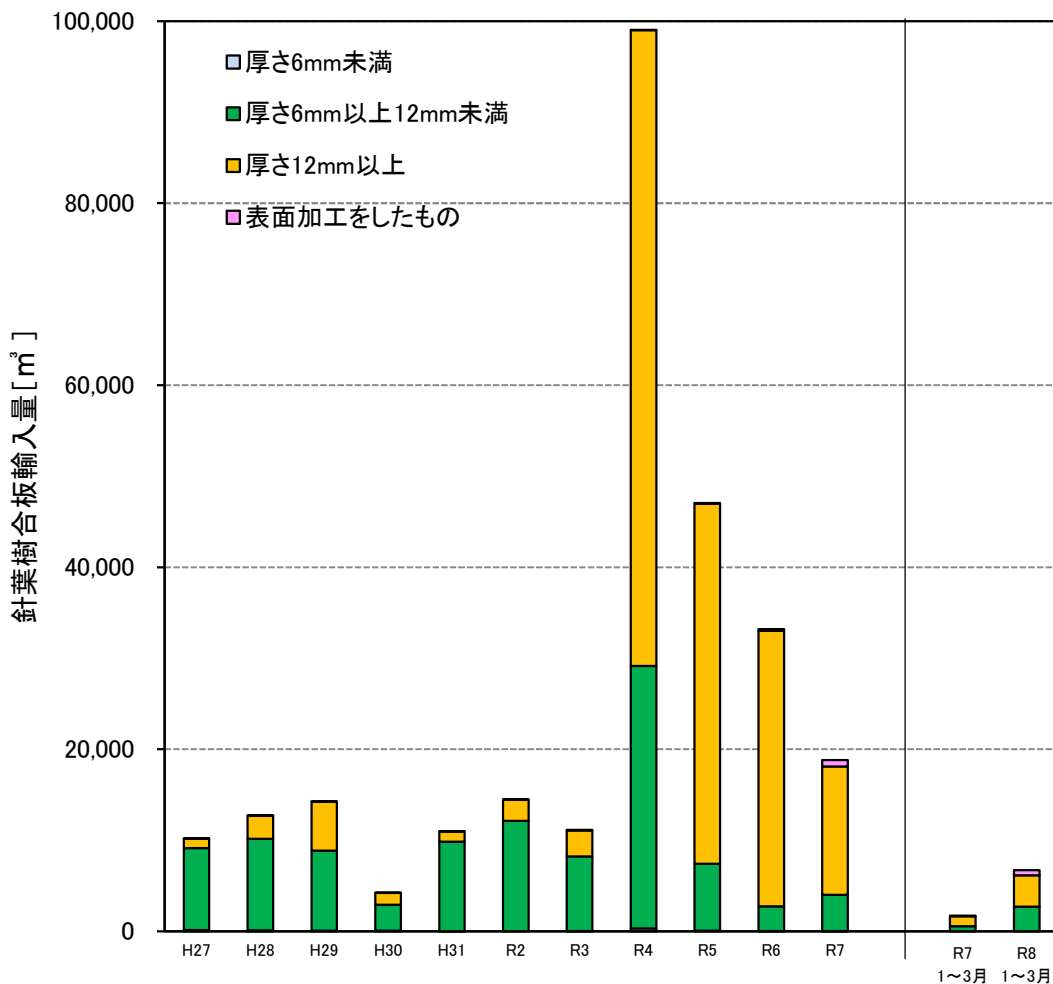


出典: 財務省「貿易統計: 統計品別国別税関別一覧表」

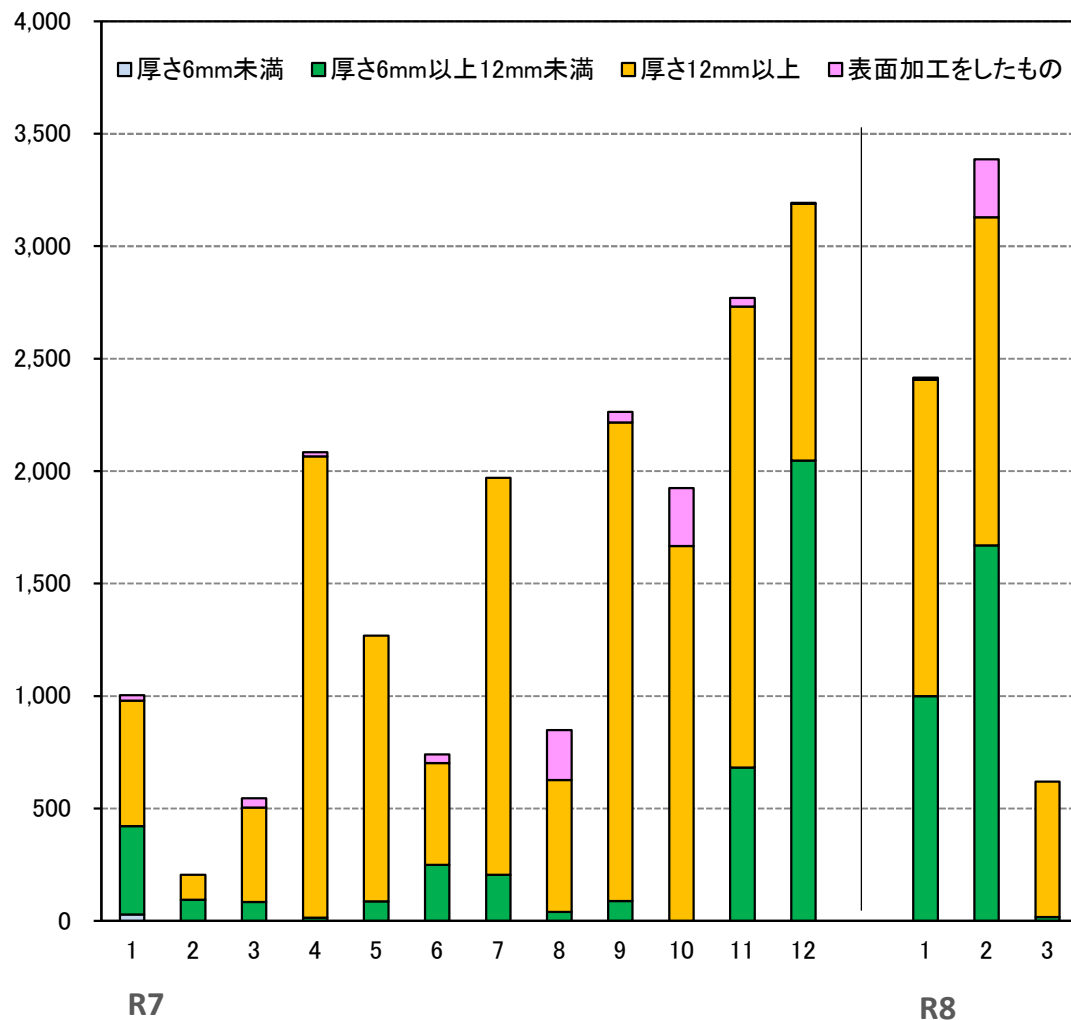
中国からの針葉樹合板の輸入量の推移

- R8年1～3月期と昨年同期を比較すると、+390%となっている。
- R7年の輸入量を月別に見ると、12月が最も多くなっている。

中国からの合板輸入量（年別）

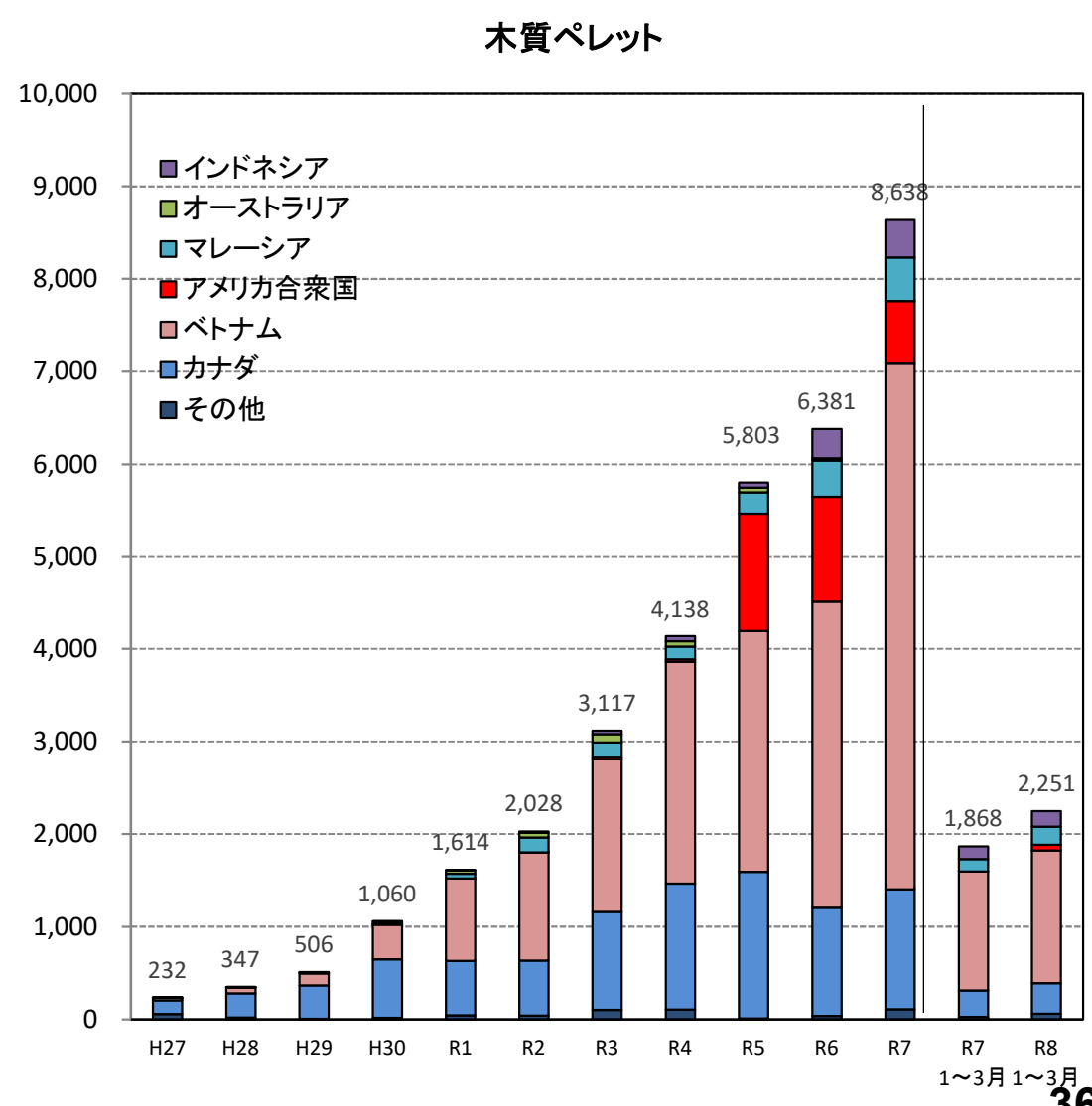
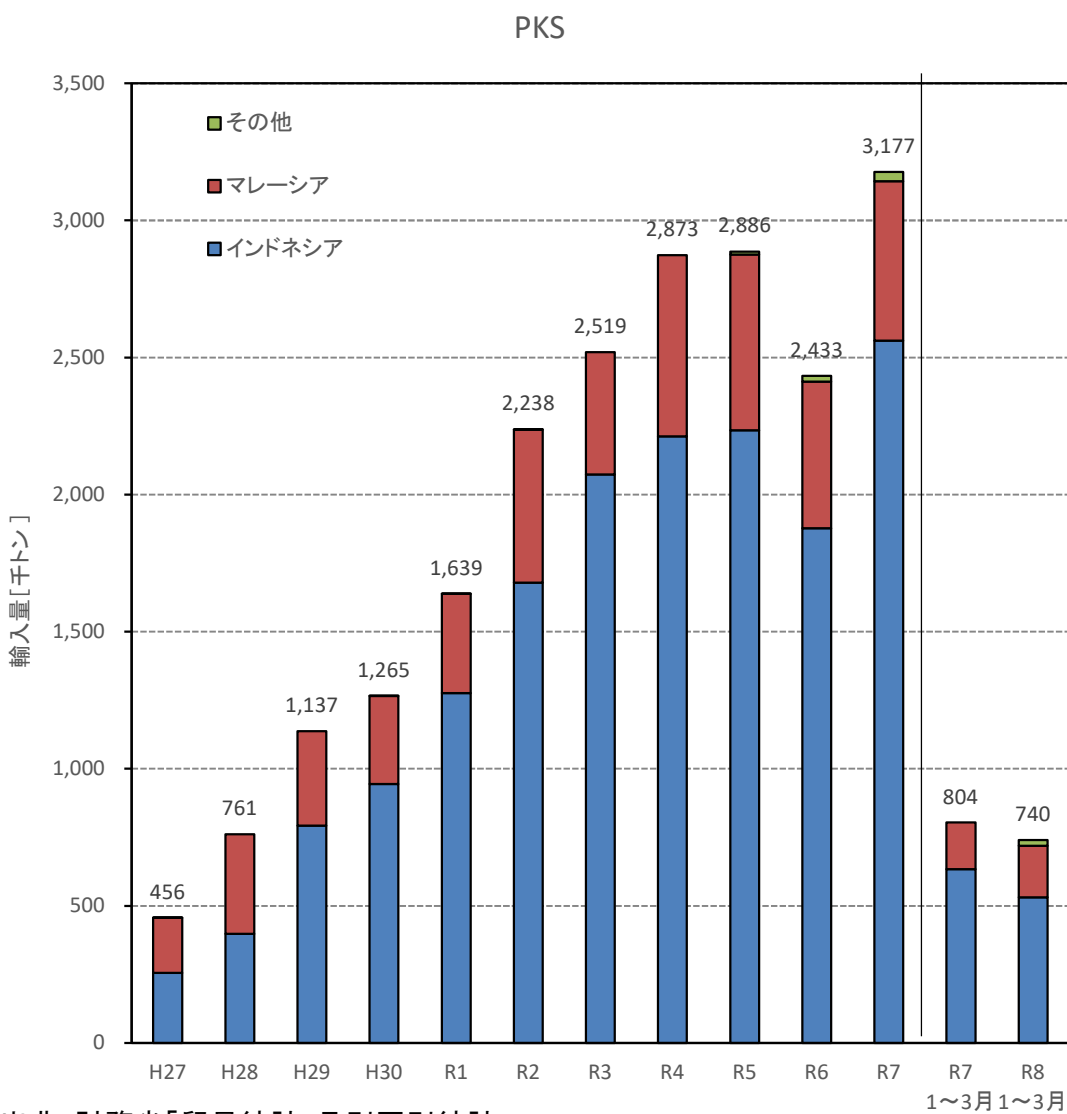


中国からの合板輸入量（R7・R8月別、m³）



PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は、R8年1～3月期と昨年同期を比較すると、－8%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア72%、マレーシア26%となっている。
- 木質ペレット輸入量は、R8年1～3月期と昨年同期を比較すると、＋20%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム64%、カナダ15%、マレーシア9%となっている。

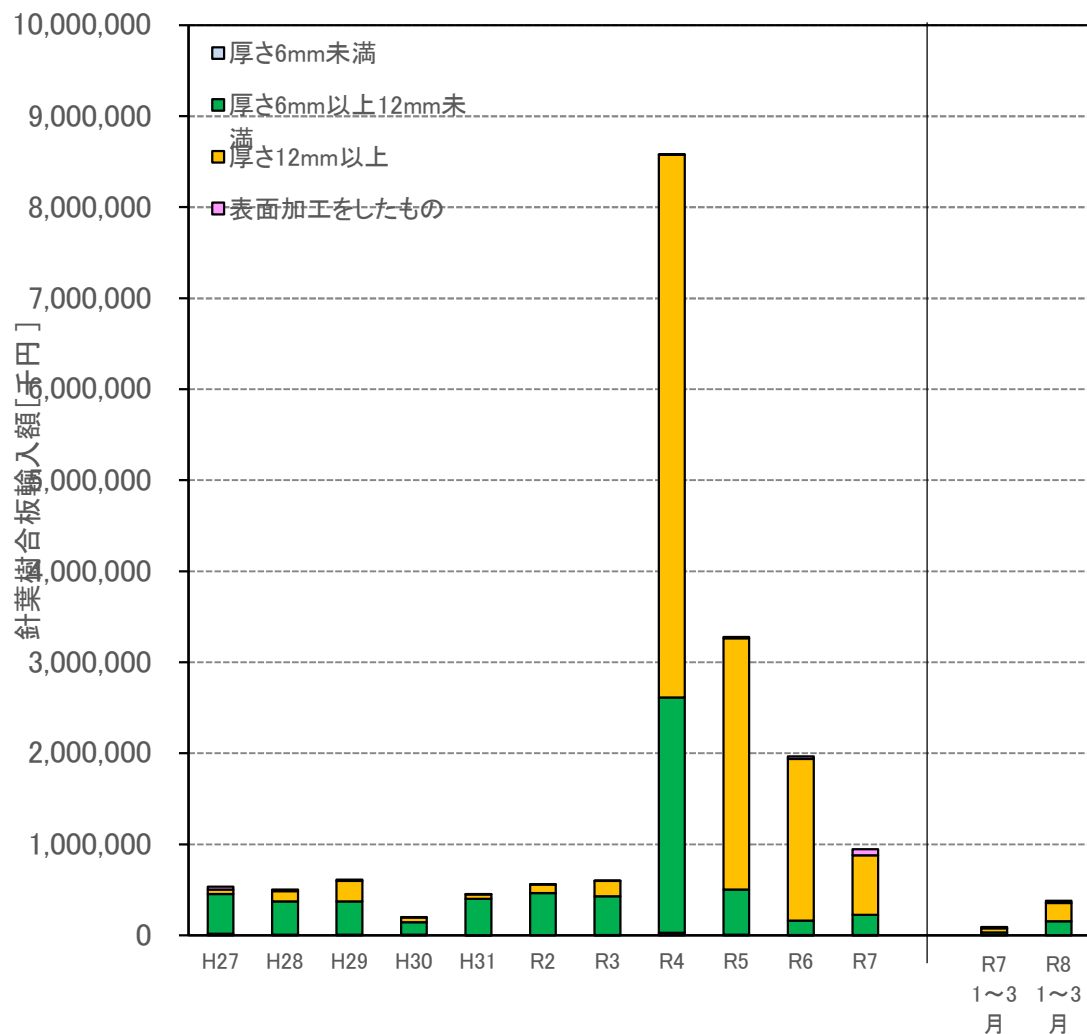


出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」

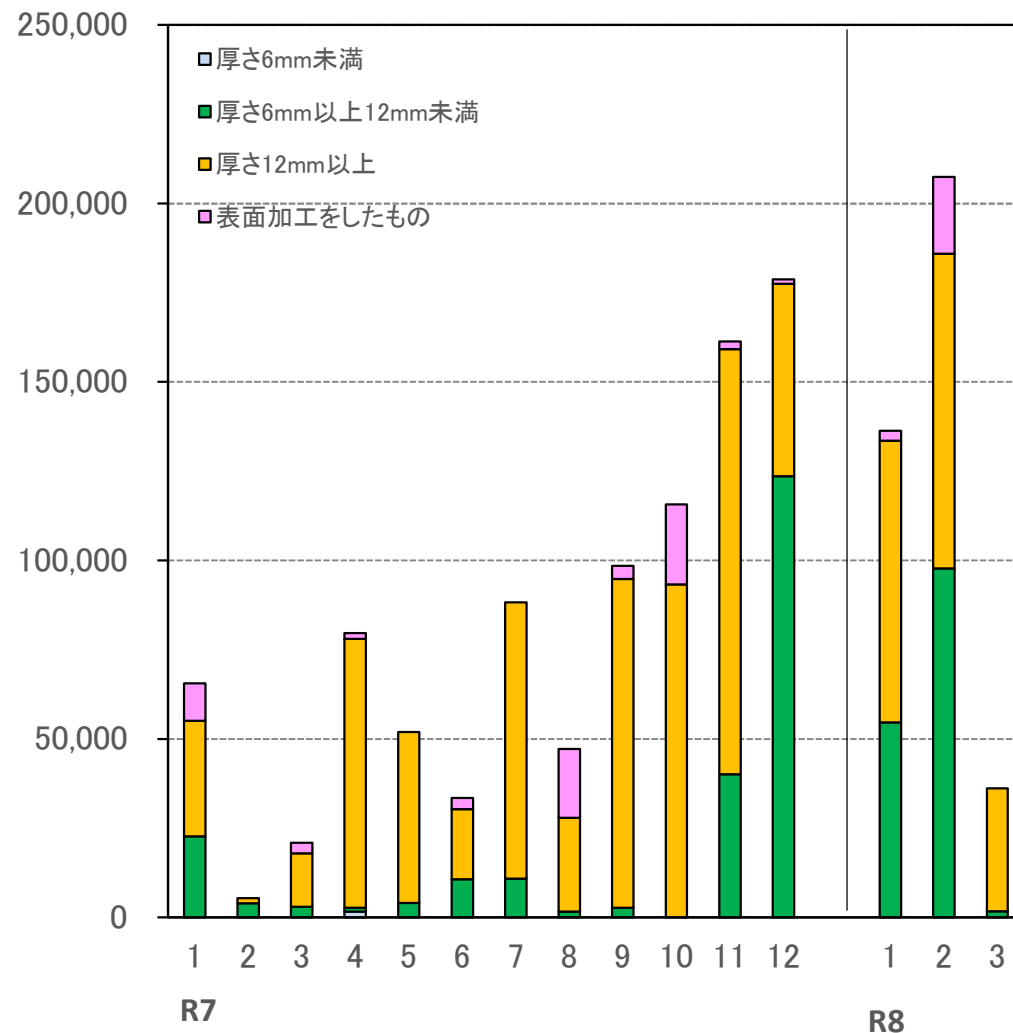
中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

- R8年1～3月期を昨年同期と比較すると、313%となっている。
- R7年の輸入額を月別に見ると、12月が最も多くなっている。

中国からの合板輸入額（年別）



中国からの合板輸入額（R7、R8月別、千円）



■ PKS・木質ペレットの輸入額の推移

- PKS輸入額は、R8年1～3月期と昨年同期を比較すると、－43%となっている。
- 主な輸入相手国は、インドネシア73%、マレーシア24%となっている。
- 木質ペレット輸入額は増加しており、R8年1～3月期と昨年同期を比較すると、＋24%となっている。
- 主な輸入相手国は、ベトナム62%、カナダ17%、マレーシア9%、インドネシア7%となっている。

